

HP Project and Portfolio Management Center

ソフトウェアバージョン: 9.10

HP Demand Management ユーザーガイド

ドキュメントリリース日: 2010年9月 (英語版)

ソフトウェアリリース日: 2010年9月 (英語版)



ご注意

保証

HP 製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付属する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載で追加保証を意図するものは一切ありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HP はいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

権利の制限

機密性のあるコンピュータソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HP からの有効な使用許諾が必要です。商用コンピュータソフトウェア、コンピュータソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR 12.211 および 12.212 の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

著作権について

© Copyright 1997-2010 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標について

Adobe® は、Adobe Systems Incorporated の商標です。

Intel®, Intel® Itanium®, Intel® Xeon®, および Pentium® は、Intel Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Java™ は、Sun Microsystems, Inc. の米国商標です。

Microsoft®, Windows®, Windows® XP, および Windows Vista® は、Microsoft Corporation の米国登録商標です。

Oracle® は、Oracle Corporation とその子会社の登録商標です。

UNIX® は、The Open Group の登録商標です。

ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアのバージョン番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに変更されます。
- ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

最近更新のチェック、またはご使用のドキュメントが最新版かどうかのご確認には、次のサイトをご利用ください。

<http://support.openview.hp.com/selfsolve/manuals>

適切な製品サポートサービスをお申し込みいただいたお客様は、最新版をご入手いただけます。詳細については、HPの営業担当にお問い合わせください。

バージョン番号が9.10である理由

PPM Centerは、HP BTO Operationsバージョン9ポートフォリオに組み込まれています。このバージョン番号を使用するのは、PPM Centerのバージョンと、同時期にリリースされる他の製品のバージョンを揃えるためです。PPM Center 9.10はPPM Center 8.0xをベースとしており、このバージョンの製品ファミリーを拡張した製品となっています。HP BTO Operationsバージョン9ポートフォリオ内でリリースされる製品では、共有のテクノロジー、共通のプラットフォーム、統合、ソリューション、アップグレードツール、プロフェッショナルサービスが提供されます。

サポート

次のHPソフトウェアサポートオンラインWebサイトを参照してください。

<http://support.openview.hp.com/>

HPソフトウェアサポートオンラインではセルフソルブ機能を提供しています。お客様の業務の管理に必要な対話型の技術支援ツールに素早く効率的にアクセスいただけます。HPソフトウェアサポートWebサイトのサポート範囲は次のとおりです。

- 関心のある技術情報の検索
- サポートケースとエンハンスメント要求の登録とトラッキング
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HPサポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェアカスタマとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

一部を除き、サポートのご利用には、HP Passportユーザとしてご登録の上、ログインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。

アクセスレベルに関する詳細は、次のWebサイトを参照してください。

http://support.openview.hp.com/access_level.jsp

HP PassportのIDを登録するには、次のWebサイトにアクセスしてください。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html> (英語サイト)

目次

1	はじめに	9
	HP Demand Management の概要	9
	HP Demand Management システムの概要	10
	リクエスト、リクエストタイプ、およびリクエストステータス	12
	ワークフローとワークフローステップ	12
	リクエスト処理とデータの整合性	13
	多言語 PPM Center インスタンスでの HP Demand Management の使用	14
	関連ドキュメント	15
2	リクエストの作成	17
	リクエストの作成の概要	17
	リクエストの作成	19
	メニューバーからリクエストを作成	20
	[参照] セクションからのリクエストの作成	23
	リクエストのコピーによるリクエストの作成	25
	リクエストへのリソースのアサイン	27
	リクエストの詳細ページの [サマリ] セクションからリソースをアサインする	27
	リクエストの詳細ページの [リソース] セクションからリソースを割り当てる	30
	リクエストへの参照の追加の概要	31
	リクエストへ参照を追加	32
	添付ファイルを参照として追加する	32
	既存パッケージを参照として追加する	33
	新規パッケージを参照として追加する	34
	プログラムを参照として追加する	36
	プロジェクトを参照として追加する	37
	リリースを参照として追加する	38
	既存リクエストを参照として追加する	39
	新規リクエストを参照として追加する	40

タスクを参照として追加する	41
URLを参照として追加する	42
リクエストのサービスの指定	43
3 リクエストの表示	47
HP Demand Management リクエストの概要	47
リクエストを開く	50
リクエストの詳細ページ、上部セクション	51
リクエストの詳細ページ、[ヘッダー]セクション	53
リクエストの詳細ページ、[詳細]セクション	54
リクエストの詳細ページ、[メモ]セクション	55
リクエストの詳細ページ、[リソース]セクション	55
リクエストの詳細ページ、[ステータス]セクション	57
リクエストの詳細ページ、[グラフィックビュー]	58
リクエストの詳細ページ、[承認の詳細]	60
リクエストの詳細ページ、[トランザクションの詳細]	61
リクエストの詳細ページ、[実行ログ]	62
リクエストの詳細ページ、[参照]セクション	62
先行タスクリレーションシップ	67
後続タスクリレーションシップ	67
終了/終了先行タスクリレーションシップ	67
4 リクエストの処理と管理	69
リクエストの処理と管理の概要	69
リクエストの検索	70
基本リクエスト検索の実行	70
詳細リクエスト検索の実行	72
クエリビルダを使用したリクエストの検索	73
リクエストクエリのコンポーネント	73
リクエストブラウザを使用したリクエストの検索	75
リクエストを開いて更新	76
ポートレットからリクエストを開く	77
電子メール通知からリクエストを開く	77
メニューバーからリクエストを開く	77
基本的なリクエスト編集の実行	78
リクエストの同時編集	82
例: 2人のユーザによるフィールドの編集	82
例: 2人のユーザによるフィールドとワークフローアクションの編集	83

例: 並列ワークフローステップ	83
クイック編集: 複数のリクエストの同時編集	84
クイック編集を実行する際の注意	84
クイック編集の実行	86
一括更新: 複数のリクエストに対するアクションの同時実行	88
一括更新を実行する際の注意	88
一括更新の実行	90
リクエストの管理	92
クローズしたリクエストの再オープン	92
リクエストの削除	93
リクエストのキャンセル	94
リクエストの印刷	95
リクエストの削除	95
Demand Management レポートを使用したリクエストの監視	96
HP Demand Management レポートの作成	98
ポートレットを使用したリクエストの管理	99
5 リクエストとプロジェクトの統合	103
リクエストとプロジェクトの統合の概要	103
タスクからのリクエストの参照	104
6 [デマンドマネージャ] ページ	107
[デマンドマネージャ] ページの概要	107
[デマンドマネージャ] ページ上のポートレット	109
[デマンド集計] ポートレット	109
[部署別デマンド] ポートレット	110
[ビジネスイニシアチブ別デマンド] ポートレット	111
[部署別SLA例外] ポートレット	112
[イニシアチブの承認待ち] ポートレット	113
ポートレットプリファレンスの設定	114
索引	117

1 はじめに

HP Demand Managementの概要

HP Demand Managementは、リクエストを作成から実装まで管理するHP Project and Portfolio Management Center (PPM Center) のコンポーネントです。各リクエストは、ユーザインタフェースで視覚的に表されるワークフローを使用して処理されます。HP Demand Managementには、これらのリクエストを処理するためのツールと設定可能なプロセスが備わっています。必要な情報がプロセスの適切な時期に確実に収集および検証されるよう、プロセス固有の情報の入力を求めることによって、データのキャプチャが行われます。

HP Demand Managementは、さまざまな承認方法を使用することで複雑なビジネスルールに従うことができます。リクエストがさまざまなワークフローステップを通過するたびに、電子メールやページャに通知を行うよう設定できます。優先順位付け機能と委任機能を使用すると、適用されたワークフローに従ってリクエストを効率的に進め、関連する部署、グループ、または個人にワークフローをルーティングできます。

本書には、次の情報が記載されています。

- HP Demand Managementでは、リクエストとは、アクションとプロセスを開始および進ませる手段です。リクエストには、リクエストをワークフローに従って進める一連のアクションの実行に必要なすべての情報が含まれています。第3章「リクエストの表示」(47ページ)で、HP Demand Managementリクエストの主要機能に関する情報について説明します。
- HP Demand Managementを使用すると、単純なソフトウェアの不具合リクエストからプロジェクト範囲の変更リクエストまで、いくつかの異なるタイプのリクエストを送信できます。第2章「リクエストの作成」(17ページ)で、これらのリクエストの作成方法の詳細について説明します。

- リクエストを作成したら、そのリクエストを処理および管理します。第4章「リクエストの処理と管理」(69 ページ)で、リクエストを開いて更新する方法、およびレポートとポートレットを使用してリクエストを管理する手順について説明します。
- HP Demand Management と HP Project Management の両方を所有している HP カスタマは、HP Demand Management のリクエストトラッキング機能を HP Project Management の送信可能日付および実績日付のトラッキング機能と統合できます。第5章「リクエストとプロジェクトの統合」(103 ページ)で、タスクとリクエストの統合および使用方法に関する情報について説明します。
- HP Demand Management には、デマンドマネージャがリクエストの監視と管理に使用できる事前設定されたページが用意されています。第6章「[デマンドマネージャ] ページ」(107 ページ)で、事前設定されたページの説明とページに表示されるポートレットについて説明します。

HP Demand Management システムの概要

HP Demand Management リクエスト解決システムは、リクエストを作成から解決までトラッキングするために使用されます。リクエスト解決システムの主要コンポーネントは、リクエストとワークフローです。

リクエストは、HP Demand Management の基本的な作業単位です。ヘルプが必要な場合、リクエストを作成します。問題を報告する場合も、リクエストを作成します。何かを実行する必要がある場合にも、リクエストを作成します。

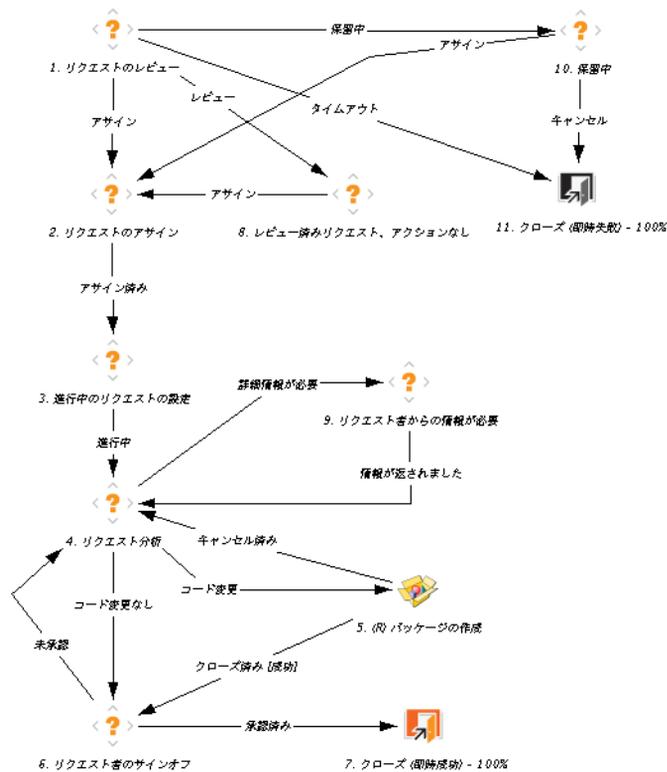
リクエストを作成したら、解決に至るためのプロセスに従わなくてはなりません。ワークフローとは、リクエストが解決に至るために辿るプロセスです。ワークフローはワークフローステップから構成され、各ワークフローステップは意思決定またアクションに対応します。

各ワークフローステップでは、情報をリクエストに追加して、既存の情報を更新できます。たとえば、機能拡張リクエストを作成して、アプリケーションに対する変更をリクエストできます。リクエスト解決プロセスの後半の段階では、機能拡張リクエストが承認されると、開発者が機能拡張リクエストの作業にアサインされます。

PPM Centerでは、リクエストの詳細ページを介してリクエストと情報をやり取りします。このリクエストの詳細ページには、リクエストに関するすべての情報が表示されます。リクエストの詳細ページは、リクエストに関する意思決定とアクションを行う場所です。

意思決定を行うか、アクションを完了したら、ユーザはリクエストの詳細ページに手動でアクセスし、意思決定またはアクションを選択する必要があります。その後、リクエストはワークフローの次のステップに進み、そこで別のユーザが意思決定または適切なアクションを実行します。図 1-1 に、サンプルリクエストのワークフローステップを示します。

図 1-1. リクエストとワークフロー



リクエスト、リクエストタイプ、およびリクエストステータス

リクエストの詳細ページには、特定のビジネスプロセスを完了するのに必要なすべての情報が表示されます。各リクエストには、「バグ」や「機能拡張」などのリクエストタイプが関連付けられています。リクエストタイプによって、含まれるフィールド、参加者、従うワークフローなど、リクエストの基本的な機能が決まります。

リクエストステータスは、リクエストの現在のステータスのサマリ指標です。たとえば、リクエストには、新規、アサイン済み、進行中のリクエストステータスがあります。リクエストがワークフローに従って移動すると、リクエストステータスが自動的に割り当てられます。HP Demand Managementには、業務のニーズに合わせて変更できるHP提供のリクエストタイプが用意されています。

ワークフローとワークフローステップ

ワークフローは、プロセスを始めから終わりまで定義する一連の論理ステップから構成されています。任意のビジネスプロセスを仮想的に処理するようにワークフローを設定できます。固定した一連のプロセスに組織を適応させるのではなく、ワークフローを作成して既存のプロセスを自動化できます。

ワークフローステップは、完全なワークフローを構成するように相互リンクされたイベントです。HP Demand Managementでは、次の4つのタイプのワークフローステップが使用されます。

- **意思決定:** 意思決定ワークフローステップでは、ユーザまたはグループは、リクエストの承認やタスクの完了など、意思決定または何らかのアクションを行う必要があります。意思決定ワークフローステップは、リソースがそのステップに相応しい意思決定またはアクションを行ったことを示すために、手動で更新されます。
- **実行:** 実行ワークフローステップでは、システムがアクションを実行し、その結果でワークフローステップを更新します。実行ワークフローステップは、トークンの値の計算など単純な場合もあれば、パッケージの作成やWebページの更新などのように複雑な場合もあります。実行ワークフローステップは自動的に更新され、アクションの結果を反映します。

- **条件:** 条件ワークフローステップは論理ステップで、AND/OR ステートメントを含めることができます。条件ワークフローステップは、すべての入力がワークフローステップを満たしてからプロセスが次のステップへ進むようにするなど、複雑なワークフロー処理に使用されます。
- **サブワークフロー:** サブワークフローワークフローステップは、リクエストに関連付けられたワークフローで使用される小さな自己完結型のワークフローです。

リクエスト処理とデータの整合性

リクエスト解決中に収集される情報は、通常、ワークフローに従ってリクエストを移動させるために必要になります。リクエスト作成時にリクエストに関連する一部の情報は利用可能ですが、その他の情報はワークフローの別のステップで取得されます。

別のワークフローステップで必要になった情報を取得するために、HP Demand Managementでは、条件付きフィールド動作を使用します。たとえば、新しいリクエストを作成するとします。最初は、[**アサイン先**]などのフィールドは不要で、無効にしておくこともできます。

ただし、ワークフローのあるステップで、ユーザをリクエストにアサインする必要があります。この場合、そのワークフローステップで、問題に取り組んでいるユーザまたはグループは、[**アサイン先**]フィールドへの入力が必要です。この時点で必須になったフィールドには赤色のアスタリスクが付き、ユーザがアサインされるまで、リクエストが次のワークフローに進めません。また、[**アサイン先**]フィールドへの入力が完了しない限り、リクエストを保存できません。

多言語 PPM Center インスタンスでの HP Demand Management の使用

PPM Center が複数の言語をサポートしている場合、作成または変更する HP Demand Management エンティティ (リクエストタイプ、リクエストヘッダタイプ、通知、ワークフロー、リクエストなど) にどのような影響があるかを理解しておきましょう。

複数言語ユーザインタフェース (MLU) を持つ PPM Center インスタンスで HP Demand Management を使用する場合、次を注意してください。

- 作成するエンティティは、ログオン時に選択した言語 (セッション言語) で定義されます。エンティティの作成後、そのエンティティは定義言語でのみ変更できます。
- エンティティをセッション言語以外の言語で定義した場合、最初に定義言語を変更しない限り、エンティティを編集できません。
- PPM Workbench からエンティティをコピーし、そのエンティティがセッション言語以外の言語で定義されている場合、そのエンティティの既存の翻訳をコピーできます。
- 通知の受取人は、通知をセッション言語で閲覧表示できます。通知受取人のセッション言語が PPM Center インスタンスでサポートされていない場合は、通知の定義言語が使用されます。

セッション言語、定義言語、および複数言語ユーザインタフェース (MLU) での HP Demand Management エンティティの翻訳の詳細については、『Multilingual User Interface Guide』を参照してください。

関連ドキュメント

HP Demand Managementに関連する情報の詳細については、次のドキュメントを参照してください。

- 『HP Demand Management 設定ガイド』
- 『Tracking and Managing IT Demand User's Guide』
- 『Tracking and Managing IT Demand Configuration Guide』
- 『Multilingual User Interface Guide』
- 『HP Time Management ユーザーガイド』
- 『HP Time Management Configuration Guide』
- 『HP Project Management ユーザーガイド』
- 『Reports Guide and Reference』
- 『スタートアップガイド』
- 『新機能と変更点』
- 『HP エンティティ ガイド』: HP Demand Managementのすべてのポートレット、リクエストタイプ、およびワークフローについて説明しています。

2 リクエストの作成

リクエストの作成の概要

HP Demand Management では、リクエストとは、アクションとプロセスを開始する手段です。リクエストには、一連のアクションを実行し、ワークフローに従って移動するために必要なすべての情報が含まれています。

リクエストに含まれている情報は、リクエストタイプによって異なります。たとえば、機能拡張リクエストを作成する場合、入力する情報は、アプリケーションの不具合リクエストを作成する場合とは異なります。ただし、ほとんどのリクエストタイプには、共通の基本構成があります。

18ページの図2-1は、最小化して主要セクションのみを表示したリクエストの詳細ページです。リクエストの詳細ページの主要セクションは次のとおりです。

- **[ヘッダー]** セクション: リクエストタイプ、リクエストの作成者、作成日付などの一般的な情報が含まれています。
- **[詳細]** セクション: 問題の説明、影響を受けるビジネス領域、リクエストの解決など、リクエストに固有の情報が含まれています。リクエストを作成する場合、通常、**[詳細]** セクションのいくつかのフィールドへの入力が必要です。
- **[メモ]** セクション: リクエストに関して付記する情報を入力するフィールドがあります。メモの入力はオプションです。
- **[参照]** セクション: リクエストに関するその他の情報を追加および表示します。たとえば、リクエストへの参照としてドキュメントを添付したり、URLを指定したりできます。

図 2-1. 一部のヘッダーセクションが最小化されたリクエストの詳細ページ

The screenshot displays a web interface for a request management system. The header is minimized, showing only the top navigation bar. The main content area is titled "DEM - アプリケーション構築拡張 - #30248". It contains several sections:

- Request Summary:** Includes fields for Request Number (30248), Request Type (DEM - アプリケーション構築拡張), Work Order (DEM - 機能拡張リクエスト プロセス), Assignee (Lyne Gatz), Assignee Group (Admin User), and Requester's Name (Lyne Gatz).
- Request Status:** A table with 19 rows showing the progress of the request. The 5th row, "ハイレベルのデザイン", is highlighted in orange and indicates the current status.
- Navigation:** Buttons for "戻る" (Back) and "保存" (Save) are visible at the bottom.

リクエストの詳細ページについては、「リクエストの表示」(47 ページ)を参照してください。

リクエストの作成

リクエストを作成するには、次の場所からアクセスできる [新規リクエストの作成] ページを使用します (詳細については、後続の項で説明します)。

- メニューバー
- リクエストの詳細ページの [参照] セクション
- HP Project Management のプロジェクト
- HP Project Management のタスク
- HP Deployment Management のパッケージ
- HP Deployment Management のリリース

HP Project Management からリクエストを作成する方法については、「[リクエストとプロジェクトの統合](#)」(103 ページ)を参照してください。HP Deployment Management からリクエストを作成する方法については、『[HP Deployment Management ユーザーガイド](#)』を参照してください。

メニューバーからリクエストを作成

リクエストの作成にはメニューバーを使用するのが一般的です。リクエストを作成すると、リクエストには自動的に固有の番号がアサインされ、最初から最後までトラッキングされます。これにより、リクエストのワークフロー内ですべてのステップにおけるタスクが完了したことを示すことができます。

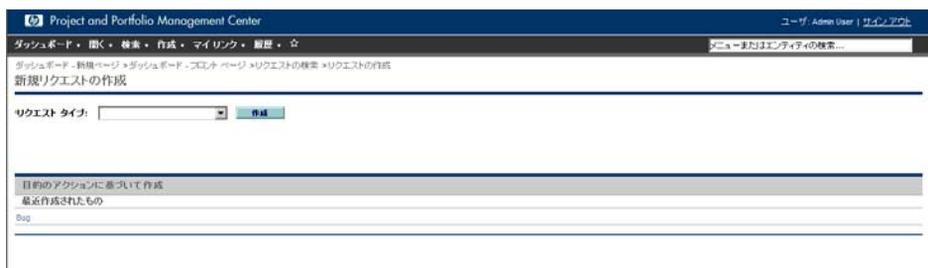


PPM Center インスタンスが複数言語をサポートしている場合、新しいリクエストタイプを作成すると、その定義言語が自動的に現在のセッション言語に設定されます。詳細については、『Multilingual User Interface Guide』を参照してください。

リクエストを作成するには、次の手順を実行します。

1. PPM Center にログオンします。
2. [作成] メニューで、[リクエスト] をクリックします。

[新規リクエストの作成] ページが開きます。



3. [リクエストタイプ] リストから、作成するリクエストタイプを選択します。

選択するリクエストタイプは、ライセンスとアクセス許可、アサインされるセキュリティグループによって異なります。[目的のアクションに基づいて作成] セクションには、最近作成されたリクエストタイプがリスト表示されています。

4. [作成] をクリックします。

[新規<リクエストタイプ>の作成] ページが開きます。

DEM-アプリケーション バグ の作成

戻る キャンセル

ワークフロー: DEM-リクエスト ワークフロー

アサイン先: []

アサイン先グループ: []

リクエスト者の署名: []

優先度: []

説明: []

リクエスト者: Admin User

リクエスト ステータス: 未リソース

タイプ: []

影響を受けたいビジネス領域: []

ソース: []

再発行: はい いいえ

再生成するステップ: []

解決: []

解決: []

環境

分析

プロジェクト情報

Demand Management SLA フォーム

Demand Management スケジュールング フォーム

メモ

申請

戻る キャンセル

リクエストの詳細ページに表示されるセクションは、選択したリクエストタイプによって異なります。

5. **[ヘッダー]** セクションで、必要に応じてフィールドに入力します。

[ヘッダー] セクションには、リクエストに関する一般的な情報を入力するためのフィールドがあります。必須フィールドには、赤色のアスタリスクが付いています。他のすべてのフィールドはオプションですが、これらのフィールドを使用して、リクエストをレビューしている他のユーザに役立つ情報を提供できます。

6. **[詳細]** セクションで、必須フィールドに入力し、リクエストに役立つその他の情報を入力します。

[詳細] セクションには、サブセクションを設定できます。特定のフィールドに関する情報については、フィールドの横にある **[ヘルプ]** アイコン (使用可能な場合) をクリックします。

7. **[メモ]** セクションには、他のユーザが使用可能なリクエストに関する追加情報を入力します。
8. 参照をリクエストに追加するには、**[参照]** セクションを使用します。

インターネットでアクセス可能なファイルを参照したり、ローカルマシンのドキュメントまたはファイルを現在のリクエストに添付したりできます。パッケージ、タスク、リクエストを参照することもできます。参照の追加方法の詳細については、「[リクエストへの参照の追加の概要](#)」(31 ページ)を参照してください。

9. **[送信]** をクリックします。

[リクエストの作成が確認されました] ページが開き、新規リクエストにアサインされた番号およびリクエストの説明が表示されます。



PPM Center は、リクエストの送信前にリクエストを保存するよう設定できます。自分のサイトでこの機能を有効にするには、アプリケーション管理者に問い合わせてください。

10. 送信済みリクエストに対して生成された詳細ページを表示するには、**[リクエスト番号]** をクリックします。

新しいリクエストを送信すると、HP Demand Management によって新規などの初期ステータスがアサインされ、関連付けられているワークフローに応じて、承認、意思決定、アクションという標準のビジネスプロセスに従ってルーティングされます。詳細については、「[リクエストの処理と管理](#)」(69 ページ)を参照してください。

[参照] セクションからのリクエストの作成

リクエストの詳細ページの [参照] セクションからリクエストを作成できます。



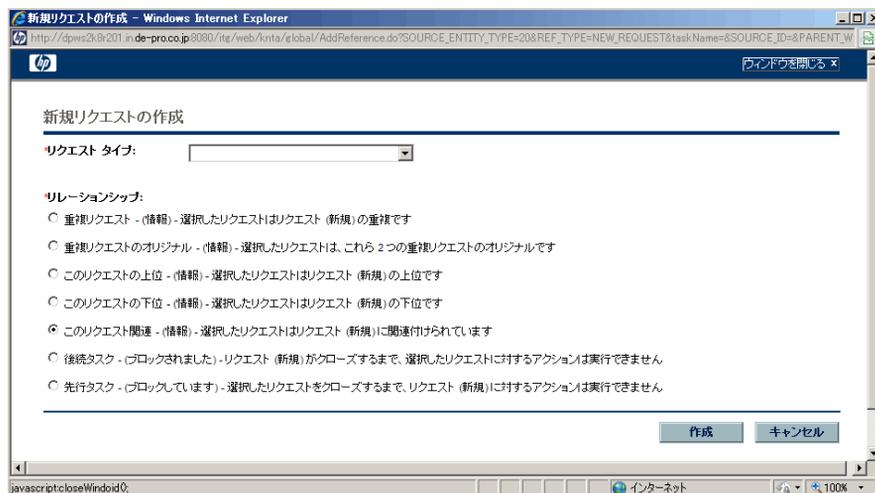
PPM Center インスタンスが複数言語をサポートしている場合、新しいリクエストタイプを作成すると、その定義言語が自動的に現在のセッション言語に設定されます。詳細については、『Multilingual User Interface Guide』を参照してください。

リクエストの詳細ページの [参照] セクションからリクエストを作成するには、次の手順を実行します。

1. PPM Center にログオンします。
2. [検索] メニューから、[リクエスト] をクリックします。
[リクエストの検索] ページが開きます。
3. リクエストを検索するには、検索基準を入力して、[検索] をクリックします。
4. [リクエスト検索結果] セクションの [リクエスト番号] 列で、番号をクリックして対応するリクエストを開きます。
リクエストの詳細ページが開きます。
5. [参照] セクションまでスクロールして展開します。
6. [新規参照] リストから、[リクエスト (新規)] を選択します。

7. **[追加]** をクリックします。

[新規リクエストの作成] ページが開きます。



8. **[リクエストタイプ]** リストから、作成するリクエストのタイプを選択します。

9. **[リレーションシップ]** で、新規リクエストをオープン済みリクエストと関連付けるオプションを選択します。



リクエスト間のリレーションシップの確立の詳細については、「[リクエストへの参照の追加の概要](#)」(31 ページ)を参照してください。

10. **[作成]** をクリックします。

[新規<リクエストタイプ>の作成] ページが開きます。

11. 赤色のアスタリスクが付いているフィールドに、必須情報をすべて入力します。

12. リクエストに役立つ追加情報を入力します。



[新規<リクエストタイプ>の作成] ページの入力方法については、「[メニューバーからリクエストを作成](#)」(20 ページ)を参照してください。

13. **[送信]** をクリックします。

リクエストのコピーによるリクエストの作成

既存のリクエストをコピーして、リクエストを作成できます。これで両方のリクエストに共通する情報の再入力が必要なくなります。



PPM Center インスタンスが複数言語をサポートしていて、既存のフィールドをコピーしてリクエストを作成した場合、元のエンティティの定義言語が異なっても、コピーアクションの結果として作成された新規リクエストでは、その定義言語が自動的に現在のセッション言語に設定されます。詳細については、『Multilingual User Interface Guide』を参照してください。

既存のリクエストをコピーするには、次の手順を実行します。

1. PPM Center にログインします。
2. リクエストを開きます。



リクエストを開くには、「[リクエストを開いて更新](#)」(76 ページ)を参照してください。

リクエストの詳細ページが開きます。

3. [ヘッダー] セクションの上にある [コピーの作成] をクリックします。

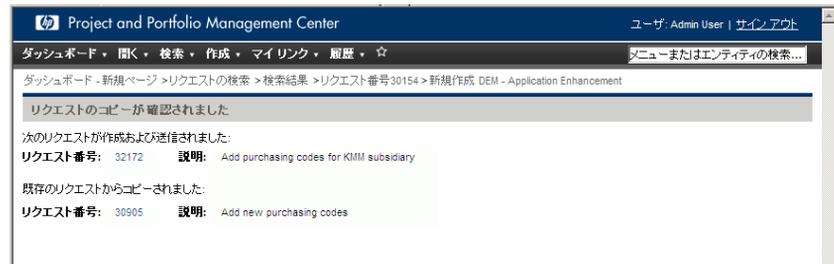
[リクエストのコピー] ページが開きます。

4. 元のリクエストに関連付けられているメモを新しいリクエストに追加するには、[リクエストメモのコピー] チェックボックスを選択したままにします。
5. 元のリクエストに関連付けられている参照を新しいリクエストに追加するには、[リクエスト参照のコピー] チェックボックスを選択したままにします。
6. [コピー] をクリックします。

[新規<リクエストタイプ>の作成] ページが開き、コピーされた情報が表示されます。[ヘッダー] セクションと [詳細] セクションのすべてのフィールドの値が新しいリクエストに複製されます。

7. 必要に応じてフィールドの値を変更し、[送信]をクリックします。

[リクエストのコピーが確認されました] ページに、リクエストが正常にコピーされたことが示されます。



8. 新規リクエストまたはコピーされたリクエストを開くには、表示されているリクエスト番号をクリックします。

リクエストへのリソースのアサイン

リクエストを作成または編集する場合、リクエストの詳細ページの [サマリ] セクションまたは [リソース] セクション (管理者がリソーストラッキングを有効にしている場合) から、リソースを手動でリクエストにアサインできます。

リクエストの詳細ページの [サマリ] セクションからリソースをアサインする

リクエストの詳細ページの [サマリ] セクションから個々のリソースをアサインするには、次の手順を実行します。

1. [アサイン先] フィールドの右側にあるリソースセレクトアイコン  をクリックします。

[検索と選択] ウィンドウが開きます。

2. 次のいずれかを実行します。
 - リストされているリソースをスクロールして、アサインするリソースを選択します。

リストされているリソースの数を制限するには、次の手順を実行します。

- a. [アサイン先]、[部署]、[名]、[姓] の各フィールドを任意に組み合わせ、検索プリファレンスを入力します。
- b. [検索] をクリックします。
- c. 表示されたリソースのリストから、リソース名を選択します。

[検索と選択] ウィンドウが閉じ、[アサイン先] フィールドに選択したリソース名が表示されます。



リソースを追加するには、リクエストを保存するか、新規リクエストの場合は、リクエストを送信する必要があります。

[サマリ] セクションから複数のリソースをアサインするには、次の手順を実行します。

1. [アサイン先] フィールドの右側にあるリソースセクタアイコンをクリックします。

[アサインするリソースの選択] ウィンドウが開きます。

2. [可用性が次の日から] フィールドを使用して、リソースにアサインする予定の日付範囲を指定します。
3. リソースに特定のスキルを指定するには、次の手順を実行します。
 - a. [スキル] をクリックします。
 - b. 指定が可能なスキルを選択します。
 - c. [理想的な技能] リストで、リソースに求めるこのスキルの技能レベルを選択します。
4. リソースの検索結果をさらに絞り込むには、次の表にリストされているオプションのフィールドに値を入力します。

フィールド	説明
適合スコアが次の値より大きい結果のみ表示	ロール、スキル、可用性に基づいて、リクエストに対するリソースの適合性を表す数値を指定します。スコアが高いほど、そのリソースのリクエストへのアサインが適合していることとなります。適合スコアの詳細については、『HP Resource Management ユーザーガイド』を参照してください。
リソース名	複数のリソースを名前を選択します。
ロール	リソースが担当する必要がある1つまたは複数のロールを選択します。
リソースプール	リクエストにアサインするリソースプールを指定します。
組織単位	リソースが所属する必要がある組織単位を選択します。

フィールド	説明
リソースカテゴリ	リソースのカテゴリを選択します。
場所	リストから、リソースを配置する必要があるサイトを選択します。
部署	リストから、リソースが所属している必要がある部署を選択します。

5. **[検索]** をクリックします。

[**リソース結果**] タブに、検索基準を満たすリソースがリスト表示されます。

6. 指定した日付範囲でリストされたリソースの負荷を表示するには、表示させたいリソースのチェックボックスを選択し、**[リソース負荷の表示]** をクリックします。

[リソース負荷内訳 - アサインサマリ] ウィンドウが開き、指定した期間の選択したリソースの作業割り当てが表示されます。

7. リストされている2人以上のリソースのスキルを比較するには、表示させたいリソースのチェックボックスを選択し、**[スキルの比較]** をクリックします。

[スキルの比較] ウィンドウが開き、選択した各リソースのスキルとスキルレベルが表示されます。



リソースを追加するには、リクエストを保存するか、新規リクエストの場合は、リクエストを送信する必要があります。

リクエストの詳細ページの [リソース] セクションからリソースを割り当てる

管理者が HP Demand Management のリソーストラッキング機能を有効にし、必要な権限が与えられている場合、リクエストの詳細ページの [リソース] セクションからリクエストのリソース割り当てを管理できます。

[リソース] セクションからリソースをリクエストに割り当てるには、次の手順を実行します。

1. リクエストの詳細ページで、[リソース] セクションを展開します。

2. [リソースの追加] をクリックします。

[検索と選択] ウィンドウが開きます。

3. 次のいずれかを実行します。

- リストされているリソースをスクロールして、アサインするリソースを選択します。

リストされているリソースの数を制限するには、次の手順を実行します。

- a. [アサイン先]、[部署]、[名]、[姓] の各フィールドを任意に組み合わせ、検索プリファレンスを入力します。
- b. [検索] をクリックします。
- c. 表示されたリソースのリストから、リソース名を選択します。

[検索と選択] ウィンドウが閉じ、[リソース] セクションに選択したリソース名が表示されます。

4. 追加したばかりのリソースをコミットするには、次のいずれかを実行します。

- 新規リクエストの場合は、[送信] をクリックします。
- それ以外の場合は、[保存] をクリックします。

リクエストへの参照の追加の概要

リクエストの詳細ページの[参照]セクションを使用すると、リクエストに関連する補足情報を追加(および表示)できます。たとえば、リクエストに関する詳細情報を提供するドキュメントまたはWebページのURLを追加できます。

次の参照タイプをリクエストに関連付けることができます。

- 添付ファイル
- パッケージ(新規および既存)
- その他のプログラム
- プロジェクト
- リリース
- リクエスト(新規および既存)
- タスク
- URL

パッケージやその他のリクエストなど、一部の参照については、元のリクエストに対する依存リレーションシップを設定できます。たとえば、リクエストはパッケージの先行タスクであるため、リクエストを閉じるまで、パッケージをワークフローに沿って継続できないように指定できます。参照と指定可能な依存リレーションシップのリストについては、「[リクエストの詳細ページ](#)、[参照]セクション」(62 ページ)を参照してください。

リクエストへ参照を追加

この項では、さまざまなタイプの参照をリクエストに追加する手順について説明します。

添付ファイルを参照として追加する

添付ファイルを参照としてリクエストに追加するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. リクエストを開くか、作成します。
3. **[参照]** セクションまでスクロールして展開します。
4. **[新規参照]** リストから、**[添付ファイル]** を選択します。
5. **[追加]** をクリックします。

[ドキュメントの追加] ウィンドウが開きます。

6. **[ファイル]** フィールドに、参照として追加するドキュメントファイルの名前を入力します。



添付するファイルの名前には、アポストロフィを含めることはできません。アポストロフィが含まれている場合、次回リクエストを開いたときにスクリプトエラーが発生します。

7. **[作者]** フィールドでは、自分の名前を添付ファイルの作者名と置き換えることができます。
8. **[説明]** フィールドでは、添付ファイルの説明を入力できます。
9. **[追加]** をクリックします。

リクエストの詳細ページの**[保存時に追加される参照]** フィールドに、参照された添付ファイルがリスト表示されます。

10. **[保存]** をクリックします。



添付ファイルを参照として追加するには、リクエストを保存する必要があります。

既存パッケージを参照として追加する

リクエストに対して既存のパッケージを参照できます。
既存パッケージを参照するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. リクエストを開くか、作成します。
3. **[参照]** セクションまでスクロールして展開します。
4. **[新規参照]** リストから、**[パッケージ (既存)]** を選択します。
5. **[追加]** をクリックします。

[参照の追加: パッケージ] ウィンドウが開きます。

6. 利用できるフィールドに検索基準を入力します。
7. **[検索]** をクリックします。

[パッケージ検索結果] セクションに、検索基準に一致するパッケージがリスト表示されます。このセクションには、リレーションシップタイプのリストも含まれています。

8. **[選択したパッケージのリクエスト番号 <リクエスト番号> に対するリレーションシップを選択]** で、リクエストとパッケージ間のリレーションシップを記述しているオプションをクリックします。



参照の追加: パッケージ

選択したパッケージのリクエスト番号 30167に対するリレーションシップを選択:

- このリクエストの下位 - (情報) - 選択したパッケージのリクエスト 30167の下位です
- Ⓜ このリクエスト関連 - (情報) - 選択したパッケージのリクエスト 30167に関連付けられています
- 先行タスク - (ブロックしています) - 選択したパッケージをクローズするまで、リクエスト 30167に対するアクションは実行できません
- 後続タスク - (ブロックされました) - リクエスト 30167がクローズするまで、選択したパッケージに対するアクションは実行できません

パッケージ検索結果						1 - 5 / 5 を表示
パッケージ番号	ワークフロー	ステータス	優先度	アサイン先	パッケージ行	説明
<input type="checkbox"/> 30032	DEV > TEST > PROD	新規	通常	csayer		Patch v3 migration test
<input type="checkbox"/> 30029	DEV > TEST > PROD	新規	通常	hhaywood		Upgrade for release 7.0b
<input type="checkbox"/> 30019	DEV > TEST > PROD	新規	通常	csayer		Patch v4a migration test
<input type="checkbox"/> 30008	DEV > TEST > PROD	新規	通常	csayer	1	
<input type="checkbox"/> 30007	DEV > TEST > PROD	進行中	通常	csayer	4	Patch v3 migration test

[すべてチェック](#) [すべてクリア](#)

[追加](#) [検索の変更](#) [キャンセル](#)

9. **[パッケージ検索結果]** セクションで、追加するパッケージ名の横にあるチェックボックスを選択します。

10. **[追加]** をクリックします。

リクエストの詳細ページの **[保存時に追加される参照]** フィールドに、パッケージ名とそのリクエストに対するリレーションシップが表示されます。

11. **[保存]** をクリックします。

[参照] セクションの **[パッケージ]** サブセクションに、参照されたパッケージがリストされています。



パッケージを参照として追加するには、リクエストを保存する必要があります。

新規パッケージを参照として追加する

新規パッケージを作成して、リクエストへ参照として追加できます。

新規パッケージを参照するには、次の手順を実行します。

1. PPM Center にログインします。
2. リクエストを開くか、作成します。
3. **[参照]** セクションまでスクロールして展開します。
4. **[新規参照]** リストから、**[パッケージ (新規)]** を選択します。
5. **[追加]** をクリックします。
[新規パッケージの作成] ウィンドウが開きます。
6. **[リレーションシップ]** で、新規パッケージとオープン済みリクエストとのリレーションシップを記述しているオプションを選択します。
7. **[作成]** をクリックします。

[新規パッケージの作成] ウィンドウが開きます。リクエストからの一致した任意のヘッダー情報(説明、優先度、パッケージタイプなど)は、自動的にパッケージに追加されます。

新規パッケージの作成 - Windows Internet Explorer
http://dpsw23-8-201.in.de-pro.co.jp:8080/itg/web/knta/div/PackageCreate.jsp

New パッケージ 30034

ヘッダー

*パッケージ番号: 30034 パッケージグループ: 作成者: Ac
説明: This initiative addresses Phase 2 of the overhaul. 作成日時: Nc
*ワークフロー: ステータス: 新

アサインされたユーザ: Carolyn Sayer 優先度: Normal 上位:
アサイン先グループ: ITG Deployment Managem パッケージタイプ: Customization 優先度シーケンス:

達成率 (%): 0

メモ

保存時に追加されるメモ:

参照

参照の追加

新規参照: 添付ファイル 追加

保存時に追加される参照:

戻る 削除

- 必要なすべての情報、および利用可能にする任意の情報を入力して、[保存]をクリックします。

リクエストの詳細ページの [保存時に追加される参照] フィールドに、新しいパッケージ名がリスト表示されます。

- [保存]をクリックします。



パッケージを参照として追加するには、リクエストを保存する必要があります。

プログラムを参照として追加する

リクエストに対して既存のプログラムを参照できます。

既存のプログラムを参照するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. リクエストを開くか、作成します。
3. **[参照]** セクションまでスクロールして展開します。
4. **[新規参照]** リストから、**[プログラム]** を選択します。
5. **[追加]** をクリックします。

[参照プログラム] ウィンドウが開きます。

6. **[プログラム]** フィールドに、リクエスト参照として追加するプログラムの名前を入力します。
7. **[リレーションシップ]** で、プログラムをリクエストと関連付ける方法を選択します。
8. **[追加]** をクリックします。

リクエストの詳細ページの**[保存時に追加される参照]** フィールドに、プログラム名がリストされ、そのリクエストに対するリレーションシップが表示されます。

9. **[保存]** をクリックします。



プログラムを参照として追加するには、リクエストを保存する必要があります。

プロジェクトを参照として追加する

既存のプロジェクトを参照として添付するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. リクエストを開くか、作成します。
3. リクエストの詳細ページで、**[参照]** セクションを展開します。
4. **[新規参照]** リストから、**[プロジェクト]** を選択します。
5. **[追加]** をクリックします。

[参照の追加: プロジェクト] ウィンドウが開きます。

6. 必要な情報、および記録する任意の情報を入力して、**[検索]** をクリックします。

[参照の追加: プロジェクト] ウィンドウに、検索基準に一致するリレーションシップタイプとプロジェクトがリスト表示されます。

7. **[選択したプロジェクトのリクエスト番号 <リクエスト番号> に対するリレーションシップを選択]** で、プロジェクトをリクエストと関連付けるオプションを選択します。
8. **[表示するプロジェクトの選択]** セクションで、参照としてリクエストに追加するプロジェクトのチェックボックスを選択します。
9. **[追加]** をクリックします。

リクエストの詳細ページの**[保存時に追加される参照]** フィールドに、プロジェクト名がリストされ、そのリクエストに対するリレーションシップが表示されます。

10. **[保存]** をクリックします。



参照を追加するには、リクエストを保存または送信する必要があります。

これで、リクエストの詳細ページに選択したプロジェクトがリスト表示されます。

リリースを参照として追加する

既存のリリースを参照としてリクエストに追加できます。

既存のリリースを参照するには、次の手順を実行します。

1. PPM Center にログインします。
2. リクエストを開くか、作成します。
3. **[参照]** セクションまでスクロールして展開します。
4. **[新規参照]** リストから、**[リリース]** を選択します。
5. **[追加]** をクリックします。

[参照リリース] ウィンドウが開きます。

6. **[リリース]** フィールドに、リリースのバージョンを入力します。
7. **[リレーションシップ]** で、リリースとオープン済みリクエストとのリレーションシップを記述しているオプションを選択します。
8. **[追加]** をクリックします。

リクエストの詳細ページの **[保存時に追加される参照]** フィールドに、リリース名がリストされ、そのリクエストに対するリレーションシップが表示されます。

9. **[保存]** をクリックします。



リリースを参照として追加するには、リクエストを保存する必要があります。

既存リクエストを参照として追加する

既存リクエストを参照としてリクエストに追加できます。

既存リクエストを参照するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. リクエストを開くか、作成します。
3. **[参照]** セクションまでスクロールして展開します。
4. **[新規参照]** リストから、**[リクエスト (既存)]** を選択します。
5. **[追加]** をクリックします。

[参照の追加: リクエスト] ウィンドウが開きます。

6. オープン済みリクエストを参照するリクエストを検索するには、検索基準を入力して、**[検索]** をクリックします。

[参照の追加: リクエスト] ウィンドウに、指定可能なリレーションシップタイプがリスト表示されます。**[リクエスト検索結果]** セクションに、検索基準に一致するリクエストがリスト表示されます。

7. **[選択したリクエストのリクエスト番号 <リクエスト番号> に対するリレーションシップを選択]** で、選択しようとしているリクエストをオープン済みリクエストと関連付けるオプションを選択します。
8. **[リクエスト検索結果]** セクションで、追加するリクエストの横にあるチェックボックスを選択します。
9. **[追加]** をクリックします。

リクエストの詳細ページの**[保存時に追加される参照]** フィールドに、選択したリクエストがリスト表示されます。

10. **[保存]** をクリックします。



参照を追加するには、オープン済みリクエストを保存する必要があります。

リクエストの詳細ページの**[参照]** セクションの**[リクエスト]** サブセクションに、参照されたリクエストがリスト表示されます。

新規リクエストを参照として追加する

新規リクエストを参照として既存リクエストに追加できます。

新規リクエストを参照するには、次の手順を実行します。

1. PPM Center にログインします。
2. リクエストを開くか、作成します。
3. **[参照]** セクションまでスクロールして展開します。
4. **[新規参照]** リストから、**[リクエスト (新規)]** を選択します。
5. **[追加]** をクリックします。

[新規リクエストの作成] ページが開きます。

6. **[リクエストタイプ]** リストから、作成するリクエストのタイプを選択します。
7. **[リレーションシップ]** で、新規リクエストをオープン済みリクエストと関連付ける方法を記述するオプションを選択します。
8. **[作成]** をクリックします。

[新規<リクエストタイプ>の作成] ウィンドウに、選択したリクエストタイプで利用できるフィールドが表示されます。

9. 必要なすべてのフィールドの情報、および記録する任意の情報を入力します。
10. **[送信]** をクリックします。

元の(オープン済み)リクエストの詳細ページの**[保存時に追加される参照]** フィールドに、選択したリクエストがリスト表示されます。

11. **[保存]** をクリックします。

リクエストの詳細ページの**[参照]** セクションの**[リクエスト]** サブセクションに、追加した新規リクエストがリスト表示されます。

タスクを参照として追加する

タスクを参照としてリクエストに追加できます。

既存のタスクを参照するには、次の手順を実行します。

1. PPM Center にログインします。
2. リクエストを開くか、作成します。
3. **[参照]** セクションまでスクロールして展開します。
4. **[新規参照]** リストから、**[タスク]** を選択します。
5. **[追加]** をクリックします。

[参照の追加: タスク] ウィンドウが開きます。

6. 提供されたフィールドを使用して、検索基準を入力します。
7. **[検索]** をクリックします。

[参照の追加: タスク] ウィンドウに、検索基準に一致するタスクがリスト表示されます。



リクエストとタスク間に存在できるリレーションシップは、「このタスク関連」のみです。

8. **[表示するタスクの選択]** セクションで、参照としてオープン済みリクエストに追加するタスクのチェックボックスを選択します。
9. **[追加]** をクリックします。

これでリクエストの詳細ページの**[保存時に追加される参照]** フィールドに、選択したリクエストがリスト表示されます。

10. **[保存]** をクリックします。

リクエストの詳細ページの**[参照]** セクションの**[タスク]** セクションに、追加したタスクがリスト表示されます。

URLを参照として追加する

リクエストに対して既存のURLを参照できます。

既存のURLを参照するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. リクエストを開くか、作成します。
3. **[参照]** セクションまでスクロールして展開します。
4. **[新規参照]** リストから、**[URL]** を選択します。
5. **[追加]** をクリックします。

[参照URL] ウィンドウが開きます。

6. **[URL]** フィールドに、URLアドレスを入力します。
7. URLをテストするには、**[URLの表示]** をクリックします。
8. **[説明]** フィールドでは、URLの短い説明を入力できます。
9. **[OK]** をクリックします。

オープン済みリクエストの詳細ページの**[保存時に追加される参照]** フィールドに、指定したURLがリスト表示されます。

10. **[保存]** をクリックします。

リクエストの詳細ページの**[参照]** セクションの**[URL]** セクションに、追加したURLがリスト表示されます。

リクエストのサービスの指定

管理者が [リクエスト作成] ページの [サービス] フィールドを有効にし、サービスに必要なリクエストタイプを作成した場合、リクエストの作成および送信時に各リクエストを1つのサービスに関連付けることができます。

リクエストのサービスを指定するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerの [新規リクエストの作成] ページで、[リクエストタイプ] リストから、今作成した [新規リクエストタイプ] を選択して、たとえば、[電子メールアドレス] を作成するとします。



2. [作成] をクリックします。

[新規<リクエストタイプ>の作成] ページが開きます。[サービス] フィールドが使用可能になっていることに注意してください。

Project and Portfolio Management Center ユーザ: Admin User | サインアウト

ダッシュボード、 閉く、 検索、 作成、 マイリンク、 履歴、 立 2. ニューまたはエンティティの検索...

リクエストの作成 > 新規作成 > 電子メールアカウント

新規 電子メールアカウントの作成

すべて展開する | すべて閉じる

送信 キャンセル

ヘッダー
サマリ

作成者: Admin User

サブタイプ:

ワークフロー: Bug Request Type Workflow

リクエスト ステータス: 未送信

優先度:

アプリケーション:

連絡先名:

アサイン先:

アサイン先グループ:

連絡先電話番号:

リクエスト グループ:

連絡先電子メール:

説明:

サービス

サービス:

- [サービス] セクションで、[サービス] フィールドのセレクトアイコンをクリックします。

ポップアップウィンドウに、利用可能なすべてのサービスがリスト表示されます。

サービス (前方一致): 検索

ページ: 1 1 - 3 / 3 を表示

選択する値をクリックします	サービス説明
サービス名	
ネットワーク	ネットワーク サービス
バックアップ & リカバリ	バックアップ & リカバリ サービス
電子メール	電子メール サービス

ウィンドウを閉じる

4. リストから新規リクエストに関連付けるサービスを選択します。
5. 必要に応じてページの他のフィールドに入力します。

HP Demand Management からのリクエストの作成の詳細については、『HP Demand Management 設定ガイド』を参照してください。

6. [送信] をクリックします。

3 リクエストの表示

HP Demand Management リクエストの概要

HP Demand Management リクエスト解決システムは、リクエストを作成から解決までトラッキングするために使用されます。HP Demand Management リクエストは、高度な設定をすることができます。このため、実際のセクションとフィールドは、リクエストタイプによって異なる可能性があります。通常、リクエストタイプはそれぞれ、固有のワークフローに関連付けられています。

リクエストの情報を更新するには、リクエストの詳細ページを使用します。リクエストの詳細ページには、リクエストに関するすべての情報が含まれています。リクエストの詳細ページは、リクエストに関する意思決定とアクションが実行される場所でもあります。

PPM Center 管理者は、HP Demand Management を使用して、さまざまなリクエストタイプの詳細ページに表示される任意のフィールドのリクエストヘルプコンテンツを作成できます。管理者があるフィールドのリクエストヘルプを追加した場合、そのフィールドの右側に [ヘルプ] アイコン  (図 3-1) を表示できます。そのフィールドの詳細情報を表示するには、このアイコンをクリックします。

図 3-1. リクエストヘルプアイコン

*連絡先名:	Schmidt, Fredrick  
連絡先電話番号:	(048)988-1222 
連絡先電子メール:	fschmidt@mercury1.com

図 3-2は、一部のセクションが最小化された既存のDEM - アプリケーション機能拡張タイプのリクエストの詳細ページです。リクエストの詳細ページの主なセクションは次のとおりです。

- リクエストの詳細ページの上部には、リクエストタイプ、リクエスト番号、**[利用できるアクション]**セクションが表示されます。**[利用できるアクション]**セクションを展開すると、現在のワークフローステップでリクエストに対して実行可能なアクションが表示されます。詳細ページのこの上部領域に表示される情報は、リクエストを作成して送信した後で利用可能になります。
- **[ヘッダー] セクション:** 次の2つのサブセクションがあります。
 - **[サマリ]:** このサブセクションには、リクエストの作成者、作成日付、リクエストタイプなどの情報が表示されます。
 - **[作業項目フィールド]:**

リクエストを作成する場合、通常、**[ヘッダー]**セクションのいくつかのフィールドに入力する必要があります。アクティブな任意のフィールドの情報は、リクエストを送信すると更新できるようになります。**[ヘッダー]**セクションは、リクエストの作成後に使用可能になります。
- **[詳細] セクション:** 問題の説明、影響を受けるビジネス領域、リクエストの解決に必要なものなど、リクエストに固有の情報が表示されます。リクエストを作成する場合、通常、**[詳細]**セクションのいくつかのフィールドに入力する必要があります。アクティブな任意のフィールドの情報は、リクエストを送信すると更新できるようになります。**[詳細]**セクションは、リクエストの作成後すぐに使用可能になります。
- **[メモ] セクション:** メモを追加したり、リクエストで既に送信済みの既存のメモを表示したりします。メモの追加は、リクエストを作成してからは、リクエスト送信後に可能です。**[メモ]**セクションは、リクエストの作成後すぐに使用できます。
- **[ステータス] セクション:** リクエストステータスが表示されます。このセクションは、リクエストの作成および送信後に使用可能になります。
- **[参照] セクション:** リクエストに関するその他の情報を表示または追加できます。たとえば、リクエストに対する参照としてドキュメントまたはURLを追加できます。**[参照]**セクションは、リクエストの作成後すぐに使用可能です。

図 3-2. リクエストの詳細ページ

Project and Portfolio Management Center ユーザ: Admin User | サインアウト

ダッシュボード | 開く | 検索 | 作成 | マイリンク | 履歴 | 空 メニューまたはエンティティの検索...

検索結果 > リクエストの作成 > 新規作成 DEM - アプリケーション機能拡張 > リクエスト番号 30248: 作成済み、送信済み > リクエスト番号 30248
[印刷用バージョン](#)

DEM - アプリケーション機能拡張 - #30248

説明: Add new purchasing codes
 リクエスト ステータス: 機能仕様待ち (変更可能なステータスを表示)

[利用可能なアクション](#)

[このページの作成](#) [印刷](#)

[すべて展開する](#) [すべて折りたたむ](#) [保存](#)

[ヘッダー](#)
[サマリ](#)

リクエスト 番号: 30248 リクエスト者: Lynne Webb
 リクエスト タイプ: DEM - アプリケーション機能拡張 [変更](#) 作成日時: 2011/01/18
リクエスト ステータス: 機能仕様待ち

ワークフロー: DEM - 機能拡張リクエスト プロセス
 アサイン先: Arnie Getz [変更](#) [削除](#)
 アサイン先グループ: [変更](#)
 リクエスト者の部署: [変更](#)
 優先度: [変更](#) アプリケーション: [バージョン制御 App](#) [変更](#)

説明: Add new purchasing codes

[作業項目フィールド](#)

- [詳細](#)
- [機能拡張の詳細](#)
- [分析](#)
- [Demand Management SLA フィールド](#)
- [Demand Management スケジューリング フィールド](#)

[メモ](#) メモがありません

[ステータス](#)

シーケンス	ワークフロー ステップ名	ステップ ステータス	完了者	日付
1	初期レビュー	アサイン	Admin User	2011/01/18 13:42:17 JST
2	詳細情報の提供			
3	リクエスト者のサインオフ			
4	保留中			
5	ハイ レベルのデザイン	ハイ レベルのデザイン (利用可能なアクションの表示)		2011/01/18 13:42:17 JST
6	詳細情報の提供			
7	ハイ レベル デザインのサインオフ			
8	優先順位付きキュー			
9	開発者のアサイン			
10	スクリーンショットの作成			
11	詳細デザイン			
12	詳細情報の提供			
13	テクニカル デザインのサインオフ			
14	初期設定			
15	パッケージの作成と待機			
16	次のシステムに対する承認			
18	クローズ (即時成功)			
19	クローズ (即時失敗)			

[ステップを展開](#) [ステップを折りたたむ](#) [グラフックビュー](#) [家庭の詳細](#) [トランザクションの詳細](#) [リクエストのキャンセル](#)

[全見](#)

[このページの作成](#) [印刷](#)

[保存](#)

リクエストを開く

PPM Centerでリクエストを開くにはいくつかの方法があります。次は、標準インターフェースで[リクエストの検索]ページからリクエストを開くための手順です。

リクエストを開くには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. [検索]メニューで、[リクエスト]をクリックします。
[リクエストの検索]ページが開きます。
3. 利用可能なフィールドに検索基準を入力して、[検索]をクリックします。
[リクエスト検索結果]に、検索基準に一致するリクエストがリスト表示されます。
4. リストされているリクエストをリクエスト番号でソートするには、[リクエスト番号]列見出しをクリックします。
5. [リクエスト番号]列で、開くリクエストの番号をクリックします。
6. 検索結果の次のページを表示するには、ページの右上隅にある右向き矢印 (◀ 結果 2 / ③ ▶) をクリックします。
7. 検索結果の前のページを表示するには、ページの右上隅にある左向き矢印 (◀ 結果 ② / 3 ▶) をクリックします。

リクエストの詳細ページ、上部セクション

リクエストの詳細ページの上部には、リクエスト番号、リクエストタイプ、および**利用できるアクション**セクションが表示されます。上部セクションは、リクエストを作成して送信後に表示されます。リクエストの詳細ページのタイトルは、<リクエストタイプ> - <リクエスト番号> (たとえば、DEM - アプリケーション機能拡張 - #30248) です。



詳細ページの上部セクションからは、次のことを実行できます。

- 利用できるアクションの実行
- リクエスト詳細の印刷
- リクエストの保存
- リクエストのコピーの作成
- リクエストの削除
- ページ内のすべてのセクションの展開と折りたたみ
- [ステータス] と [メモ] の各セクションへのジャンプ

現在のワークフローステップで、リクエストに対してアクションを実行するのに必要なアクセス許可がある場合、**利用できるアクション**セクションに実行可能なアクションがリスト表示されています。[受け入れ] や [却下] など、一部のアクションを実行すると、リクエストはワークフローの次のステップに進みます。[リソースのアサイン] や [意思決定の委任] などのアクションを選択すると、[ワークフローアクション] ページが開き、その他の選択肢が表示されます。あるアクションでは、オプションだったフィールドが必須になります。

リクエストに対して実行しているアクションでさらに情報の入力が必要な場合、リクエストの [Lookahead] ページが開きます。アクションを完了するために、赤色のアスタリスクが付いている必須フィールドに情報を入力します(す

ぐにすべての情報を入力できない場合、[Lookahead] ページの [保存] をクリックして、入力した情報を保存してください)。

参照リレーションシップを設定すると、参照したリクエストが完了するまで、リクエストが保留されます。参照リレーションシップでは、[利用できるアクション] セクションに [オーバーライド] ボタンがあります。リクエストをワークフローの先に進めるには、[オーバーライド] をクリックします。リレーションシップをオーバーライドすると、変更が [参照] セクションに反映されます。

リクエストの詳細ページ、[ヘッダー] セクション

リクエストの詳細ページの [ヘッダー] セクションには、リクエストの作成者、リクエストの作成日時、リクエストタイプなどの一般的な情報が含まれています。[ヘッダー] セクションは、リクエストの作成プロセスに含まれており、リクエストの解決までリクエストに付帯します。図 3-3 は、一般的な [ヘッダー] セクションです。

リクエストを作成するには、通常、[ヘッダー] セクションのいくつかのフィールドに入力する必要があります。リクエストは高度な設定をすることも可能です。[ヘッダー] セクション内のフィールドは、リクエストタイプによって異なります。

図 3-3. リクエストの詳細ページ、[ヘッダー] セクション、[サマリ] サブセクション

The screenshot displays a web interface for request management. It is divided into two main sections: 'Header' and 'Summary'.

Header Section:

- リクエスト番号:** 3048
- リクエストタイプ:** 00x-アプリケーション/機能拡張
- ワークフロー:** 00x-機能拡張/リクエスト/プロセス
- アサイン先:** System Admin
- アサイングループ:** [Empty]
- リクエスト者の部署:** [Empty]
- 優先度:** 高
- 説明:** Add new purchasing codes
- リクエスト者:** Admin User
- 作成日時:** 2016/1/18
- リクエスト ステータス:** 機能拡張待機
- アプリケーション:** [Empty]

Summary Section (作業項目フィールド):

- ステージ-承認された開始日:** 2016/1/20
- ステージ-承認された終了日:** 2016/1/18
- ステージ-承認された開始:** [Empty]
- ステージ-承認された工数:** 1.00
- 作業員:** 高田, 川口
- ロール:** System Administrator (100)
- 実際の開始日:** [Empty]
- 実際の終了日:** [Empty]
- 実際の開始:** [Empty]
- 実際の工数:** [Empty]
- 作業員(予定):** [Empty]

リクエストの詳細ページ、[詳細] セクション

リクエストの詳細ページの[詳細]セクション(図 3-4を参照)には、問題の説明、影響を受けるビジネス領域、リクエストの解決を含む、リクエストに固有の情報が含まれています。[詳細]セクションは、リクエストの作成プロセスに含まれており、リクエストの解決までリクエストに付帯します。リクエストを作成する場合、通常、[詳細]セクションのいくつかのフィールドに入力する必要があります。新しいリクエストの送信後、リクエストが解決プロセスを進むにつれ、フィールドを更新する必要があります。

[詳細]セクションには、[問題/解決]と[分析]などのサブセクションがあります。ただし、リクエストは高度な設定ができるため、表示されるセクションとコントロールは、クエストタイプによって異なります。

図 3-4. リクエストの詳細ページ、[詳細]セクション

ホーム > 要求管理 > 要求管理の詳細

詳細

要求領域名: Add purchasing codes for KJMI subsidiary

詳細な説明: Add purchasing codes for KJMI subsidiary

新購要求領域: 0 | 買い出し サイト: レポートツール

リクエスト者: 20110518

リクエスト者の場所: アジアン ビジネス イニシアチブ: 統合サブライチェン

分析

- Demand Management SLA フォールド
- Demand Management スケジュールリング フィールド

リクエストの詳細ページ、[メモ] セクション

リクエストの詳細ページの [メモ] セクションには、リクエストに関するメモや情報を入力および保存できるフィールドがあります。[メモ] セクションは、リクエストの作成プロセスに含まれており、リクエストの解決までリクエストに付帯します。

図 3-5 は、一般的な [メモ] セクションです。[メモ] セクションには、[メモの追加] セクションがあります。メモを1つ追加してリクエストを保存すると、[既存のメモ] セクションが表示されます。

図 3-5. リクエストの詳細ページ、[メモ] セクション

メモ

メモの追加

保存時に追加されるメモ:

既存のメモ

ユーザメモのみ表示

メモの作者: [すべて]

変更済みフィールド: [すべて]

Admin User (admin)

2011/01/18 14:50:08 JST

The horizontal scrollbar appears to be broken in some browser. Testing is in progress.

リクエストの詳細ページ、[リソース] セクション

PPM Center 管理者がリクエストタイプのリソーストラッキングを有効にしている場合、リクエストの詳細ページの [詳細] セクションの下に [リソース] セクションが表示されます。このセクションの [リソース] 列には、これまでリクエストにアサインされたリソースがリスト表示されます。このセクションには、[スケジュールされた工数]、[実績工数]、[実際の開始日]、[実際の終了日] の列もあります (図 3-6 を参照)。

図 3-6. リクエストの詳細ページ、[リソース] セクション

{リソースが存在します}

リソース	スケジュールされた工数 (時間)	実績工数 (時間)	実際の開始日	実際の終了日
Eket Packer	10.00	0		
総合:	10.00			

リソースの追加

メモ

[**リソース**] セクションでは、リクエストに現在アサインされているリソースと以前にアサインされていたリソース、これらのリソースの実績工数とその作業日時を確認できます。[**アサイン先**] フィールドが変更 (リクエストが別のリソースにアサイン) されるたびに、そのリソースが自動的に [**リソース**] セクションに追加され、リクエストに計上されます。

[**リソース**] セクションを使用して実績を更新でき、必要なアクセス許可がある場合は、[**スケジュールされた工数 (時間)**] フィールドを使用してリストされているリソースのアサインを変更できます。リクエストにアサインされるリソースの割り当ての作成と変更は、通常、マネージャレベルのリソースが実行します。リクエストの作業をする他のリソースは、通常、計画変更を行うアクセス許可がないため、[**スケジュールされた工数 (時間)**] フィールドを変更できません。

管理者がリクエストタイプをHP Time Managementを使用するように設定した場合、リソースは、タイムシートを送信し、このリクエストに対する作業時間を記録することになります。この場合、リソースの [**スケジュールされた工数**] フィールドの値が、そのリソースのタイムシートの [**予定されている時間数**] フィールドに表示されます。

さらに、リソースがタイムシートを送信した後は、リクエスト上で直接 [**実績工数**]、[**実際の開始日**]、[**実際の終了日**] の各フィールドを編集できなくなります。これらの値は読み取り専用になり、リクエストのリソースによって送信されたタイムシートからロールアップされます。

管理者から [**リソース**] セクションを管理する権限を与えられている場合、[**リソースの追加**] ボタンを使用して、ユーザを選択しリストに追加できます。ここに表示される情報は、このセクションに対して加えられた変更、HP Time Managementのタイムシート、あるいはリソースへの自動変更を設定するために管理者が設定した高度なUIルールが反映されている可能性があります。

リソースをトラッキングするように設定されているだけでなく、リクエストに [**作業項目フィールド**] セクションも含まれている場合、これらの作業項目フィールドの一部はリソースレベルの情報のロールアップになります。このため、たとえば、[**作業項目フィールド**] セクションの [**スケジュールされた工数**] 列の情報は、リクエストの各リソースにスケジュールリングされた工数の合計となります。[**実績工数**]、[**実際の開始日**]、[**実際の終了日**] の各フィールドもロールアップになります。

リクエストの詳細ページ、[ステータス] セクション

リクエストの詳細ページの **[ステータス]** セクションには、リクエストに関連付けられているワークフローステップがリスト表示されます。ワークフローステップに対してアクションが実行されている場合、ワークフローステップのステータスとステップの完了者もリスト表示されます。ワークフローステップは、そのワークフローステップを記述しているか、その他の情報を有する Web アドレス (URL) にリンクすることが可能です。アクティブなワークフローステップは強調表示されます。

アクティブなワークフローステップに対してアクションの実行に必要なアクセス許可がある場合、**[ステップステータス]** 列に **[利用できるアクションの表示]** リンクが表示されます (図 3-7)。このリンクをクリックして、ワークフローステップの利用できるアクションにアクセスします。利用できるアクションは、タイトルセクションの **[利用できるアクション]** セクションにも表示されています (「リクエストの詳細ページ、上部セクション」(51 ページ)を参照)。

一部のワークフローには、サブワークフローがあります。サブワークフローステップは、他のワークフローステップとともに順に表示されます。サブワークフローステップは、ワークフローレベルに対応して、追加の小数点以下の位を持つ番号が付けられます (たとえば、3.1、3.2、3.3)。

ワークフローステップのリストに加えて、**[ステータス]** セクションには、次のリンクもあります。

- **[グラフィックビュー]** には、リクエストに関連付けられているワークフローが表示されます。
- **[承認の詳細]** には、承認されたワークフローステップと完了したワークフローステップの詳細ビューが表示されます。
- **[トランザクションの詳細]** には、完了した各ワークフローステップの詳細情報が表示されます。

図 3-7. リクエストの詳細ページ、[ステータス] セクション

№	ステータス	ワークフロー	ステップ	ステータス	完了者	日時
1	リクエストの作成	ワークフロー	ステップ	ステータス	完了者	日時
2	リクエストの承認	ワークフロー	ステップ	ステータス	完了者	日時
3	リクエストのサインオフ	ワークフロー	ステップ	ステータス	完了者	日時
4	待機中	ワークフロー	ステップ	ステータス	完了者	日時
5	ハイレベルのデザイン	ハイレベルのデザイン	ステップ	ステータス	完了者	日時
6	詳細情報の提供	ワークフロー	ステップ	ステータス	完了者	日時
7	ハイレベルデザインのサインオフ	ワークフロー	ステップ	ステータス	完了者	日時
8	提案の承認	ワークフロー	ステップ	ステータス	完了者	日時
9	提案者のサイン	ワークフロー	ステップ	ステータス	完了者	日時
10	スクリーンショットの作成	ワークフロー	ステップ	ステータス	完了者	日時
11	詳細のサイン	ワークフロー	ステップ	ステータス	完了者	日時
12	詳細情報の提供	ワークフロー	ステップ	ステータス	完了者	日時
13	テクニカルデザインのサインオフ	ワークフロー	ステップ	ステータス	完了者	日時
14	詳細の提供	ワークフロー	ステップ	ステータス	完了者	日時
15	ハイレベルのサインオフ	ワークフロー	ステップ	ステータス	完了者	日時
16	承認の完了	ワークフロー	ステップ	ステータス	完了者	日時
17	サインオフ	ワークフロー	ステップ	ステータス	完了者	日時
18	サインオフ	ワークフロー	ステップ	ステータス	完了者	日時
19	サインオフ	ワークフロー	ステップ	ステータス	完了者	日時

リクエストの詳細ページ、[グラフィックビュー]

リクエストの詳細ページの [**グラフィックビュー**] リンクをクリックすると、[グラフィカルワークフロー] ウィンドウが開きます。このウィンドウには、リクエストに適用されるワークフローがグラフ表示されています。ワークフローは、どのワークフローステップを経過してきたのか、現在のワークフローステップがどのワークフローステップであるかを示します。

リクエストのグラフィックワークフローを表示するには、次の手順を実行します。

1. 標準インターフェースからリクエストを開きます。

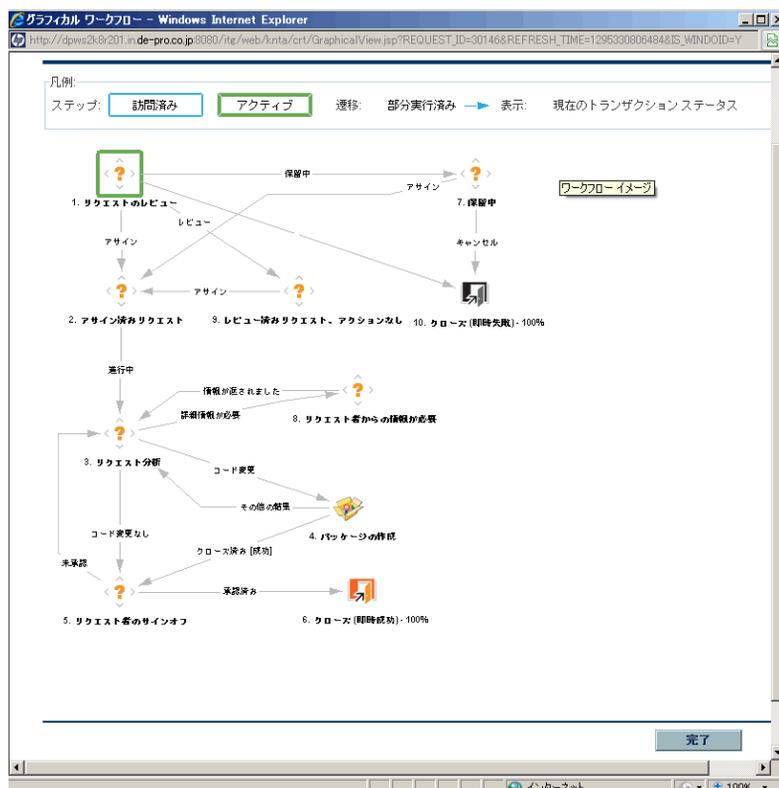


リクエストを開く方法については、「[リクエストを開く](#)」(50 ページ)を参照してください。

2. 詳細ページで、[**ステータス**] セクションまでスクロールして展開します。

3. [ステータス] セクションの下部にある、[グラフィックビュー] リンクをクリックします。

[グラフィカルワークフロー] ウィンドウが開きます。



[凡例] セクションには、ワークフローステップと遷移を図示する色と記号のキーが用意されています。ワークフローステップの概要説明を表示するには、カーソルをステップに移動してツールヒントテキストを表示します。

管理者は、[現在の達成率 (%)] の値を個々のワークフローステップにアサインできます。リクエストがワークフローに沿って進むにつれ、それぞれのステップに設定されている値に従って達成率 (%) が更新されます。

リクエストの詳細ページ、[承認の詳細]

リクエストの [承認の詳細] ウィンドウには、承認されたアクティブなワークフローステップと完了したワークフローステップの詳細ビューが表示されます。

リクエストの承認の詳細を表示するには、次の手順を実行します。

1. 標準インタフェースからリクエストを開きます。



リクエストを開く方法については、「[リクエストを開く](#)」(50 ページ)を参照してください。

2. 詳細ページで、[ステータス] セクションまでスクロールして展開します。
3. [ステータス] セクションの下部にある、[承認の詳細] をクリックします。

[承認の詳細] ウィンドウが開きます。



[承認者] 列には、ユーザがワークフローステップに対してアクションを実行できるセキュリティグループ (ワークフローが完了している場合は、ユーザがワークフローステップに対してアクションを実行したセキュリティグループ) の名前がリスト表示されます。[承認の詳細] ウィンドウには、ワークフローステップを完了するのに必要な条件 (たとえば、「すべてのユーザが決定する必要があります」) も表示されます。

ワークフローステップの設定に応じて、[承認者] 列には、セキュリティグループ名、または個々のユーザ名がリストされます。リストされているセキュリティグループに所属するユーザ名を表示するには、セキュリティグループ名をクリックします。

ワークフロー意思決定ステップでは、結果が異なる可能性もあります。[意思決定結果] 列には、ワークフローステップの実際の結果が表示されます。[意思決定日] 列には、意思決定がなされた日時(すべての必要な承認者と意志決定者が入力を送信した後)が表示されます。

リクエストの詳細ページ、[トランザクションの詳細]

[トランザクションの詳細] ウィンドウには、完了した各ワークフローステップのトランザクションに関する情報がリスト表示されます。

リクエストのトランザクションの詳細を表示するには、次の手順を実行します。

1. 標準インタフェースからリクエストを開きます。



リクエストを開く方法については、「[リクエストを開く](#)」(50 ページ)を参照してください。

2. 詳細ページで、[ステータス] セクションまでスクロールして展開します。
3. [ステータス] セクションの下部にある [トランザクションの詳細] をクリックします。

[トランザクションの詳細] ウィンドウが開きます。

日付	ユーザ名	ステップ	ワークフロー ステップ名	ステップ ステータス	結果	エラー	エラー メッセージ	メモ
2010/12/21 17:02:56 JST	admin	2	優先度 1 リクエストの確認	連絡				
2010/12/21 17:03:13 JST	admin	2	優先度 1 リクエストの確認	完了	2. 重要ビジネスの間			
2010/12/21 17:03:13 JST	admin	3	依頼レビュー	連絡				
2010/12/21 17:04:35 JST	admin	3	依頼レビュー		保留中のリクエスト			
2010/12/22 11:05:41 JST	admin	3	依頼レビュー		保留中の参照			

リクエストの詳細ページ、[実行ログ]

[実行ログ] ページを開くと、実行ワークフローステップに関連する詳細を表示できます。

ワークフローステップのリクエストの [実行ログ] を表示するには、次の手順を実行します。

1. 標準インターフェースから、関心のあるリクエストを開きます。



リクエストを開く方法については、「[リクエストを開く](#)」(50 ページ)を参照してください。

2. 詳細ページで、[ステータス] セクションまでスクロールして展開します。
3. 実行ステップの [ステップステータス] 列で、[log] をクリックします。
4. [実行ログ] ページが開き、リクエスト実行の詳細が表示されます。

リクエストの詳細ページ、[参照] セクション

リクエストの詳細ページの [参照] セクションには、リクエストに関連するその他の情報が含まれています。たとえば、URL をリクエストに追加したり、あるいはリクエストから古くなったドキュメントを削除することがあります。[参照] セクションは、リクエストの作成プロセスに含まれており、リクエストの解決まで付帯します。参照をリクエストに追加、削除できます。

参照をリクエストに追加するには、[参照の追加] サブセクションを使用します。保存される参照は、参照タイプ別に整理されます。たとえば、保存されるすべての参照パッケージは、[パッケージ] セクションに保存されます。

リクエストと参照エンティティの間に依存リレーションシップを作成できる場合もあります。一例として、パッケージをリクエストの先行タスクと指定することもできます。この場合、パッケージがクローズするまで、リクエストは次のワークフローステップに進めません。参照、その定義、および指定可能な依存リレーションシップのリストについては、63 ページの表 3-1 を参照してください。

図 3-8. リクエストの詳細ページの [参照] セクション



表 3-1. 参照とリレーシオンシップ (1/4 ページ)

参照	参照説明	指定可能なリレーシオンシップ	リレーシオンシップ説明
添付ファイル	ファイルをローカルマシンから現在のリクエストに添付します。添付ファイルはサーバにコピーされます。	標準の添付ファイルインストール	(情報) 添付ファイルはこのリクエストに関連付けられています。
パッケージ (既存)	既存パッケージを参照します。	このリクエストの下位	(情報) 選択したパッケージはリクエストの下位です。
		このリクエストに関連	(情報) 選択したパッケージはリクエストに関連付けられています。
		先行タスク	(ブロックしています) 選択したパッケージをクローズするまで、リクエストに対するアクションは実行できません。
		後続タスク	(ブロックされました) リクエストをクローズするまで、選択したパッケージに対するアクションは実行できません。

表 3-1. 参照とリレーションシップ (2/4 ページ)

参照	参照説明	指定可能なリレーションシップ	リレーションシップ説明
パッケージ (新規)	リクエストから新規パッケージも作成できます。ワークフローの一部として設定した場合、ワークフローステップからパッケージを作成できます。この場合、そのパッケージに対する参照が自動的に生成され、リクエストとパッケージ間に双方向リンクが確立されます。	このリクエストの下位	(情報) 選択したパッケージはリクエストの下位です。
		このリクエスト関連	(情報) 選択したパッケージはリクエストに関連付けられています。
		先行タスク	(ブロックしています) 選択したパッケージをクローズするまで、リクエストに対するアクションは実行できません。
		後続タスク	(ブロックされました) リクエストをクローズするまで、選択したパッケージに対するアクションは実行できません。
プロジェクト	HP Project Management 内のプロジェクトを参照します。	このリクエスト関連	(情報) 選択したプロジェクトはこのリクエストに関連付けられています。
リリース	HP Deployment Management 内のリリースを参照します。	このリクエストを含みます	(情報) リクエストは選択したリリースに含まれています。

表 3-1. 参照とリレーションシップ (3/4 ページ)

参照	参照説明	指定可能なリレーションシップ	リレーションシップ説明
リクエスト (既存)	既存リクエストを参照します。	重複リクエスト	(情報) 選択したリクエストはリクエストの重複です。
		重複リクエストのオリジナル	(情報) 選択したリクエストは2つの重複リクエストのオリジナルです。
		このリクエストの上位	(情報) 選択したリクエストはリクエストの上位です。
		このリクエストの下位	(情報) 選択したリクエストはリクエストの下位です。
		このリクエスト関連	(情報) 選択したリクエストはこのリクエストに関連付けられています。
		先行タスク	(ブロックしています) 選択したリクエストをクローズするまで、このリクエストに対するアクションは実行できません。
		後続タスク	(ブロックされました) このリクエストをクローズするまで、選択したリクエストに対するアクションは実行できません。

表 3-1. 参照とリレーションシップ (4/4 ページ)

参照	参照説明	指定可能なリレーションシップ	リレーションシップ説明
リクエスト (新規)	<p>既存リクエストから新規リクエストを作成できます。</p> <p>また、ワークフローの一部として設定した場合、リクエストからリクエストを作成できます。そのリクエストに対する参照が自動的に生成され、リクエスト間に双方向リンクが確立されます。</p>	重複リクエスト	(情報) 選択したリクエストはリクエストの重複です。
		重複リクエストのオリジナル	(情報) 選択したリクエストは2つの重複リクエストのオリジナルです。
		このリクエストの上位	(情報) 選択したリクエストはリクエストの上位です。
		このリクエストの下位	(情報) 選択したリクエストはリクエストの下位です。
		このリクエストに関連	(情報) 選択したリクエストはこのリクエストに関連付けられています。
		先行タスク	(ブロックしています) 選択したリクエストをクローズするまで、このリクエストに対するアクションは実行できません。
		後続タスク	(ブロックされました) このリクエストをクローズするまで、選択したリクエストに対するアクションは実行できません。
タスク	HP Project Management 内のタスクを参照します。	このリクエストに関連	(情報) 選択したタスクはこのリクエストに関連付けられています。
URL	Web アドレスを参照します。このURLにあるドキュメントはMIME 形式である必要があります。	標準の URL インストラクション	(情報) URLはこのリクエストに関連付けられています。

先行タスクリレーションシップ

先行タスクリレーションシップは、参照エンティティがクローズするまで、あるエンティティに対してアクションを実行できないことを意味しています。たとえば、参照パッケージをクローズするまで、リクエストに対するアクションは実行できません。パッケージをクローズすると、ユーザは再度リクエストに対してアクションを実行できます (ユーザが他のリクエストフィールドの編集を禁止されることはありません)。

後続タスクリレーションシップ

後続タスクリレーションシップは、参照エンティティがクローズするまで、そのエンティティに対してアクションを実行できないことを意味しています。たとえば、リクエストをクローズするまで、ユーザは参照パッケージに対してアクションを実行できません。パッケージのステータスは、**[保留中のリクエスト]**になります。リクエストをクローズすると、ユーザは再度パッケージに対してアクションを実行できます (ユーザが他のタスクフィールドの変更を禁止されることはありません)。

終了/終了先行タスクリレーションシップ

終了/終了またはFF先行タスクリレーションシップは、2つのエンティティが同時に完了することを意味しています。たとえば、参照パッケージのステータスは、オリジナルのリクエストがクローズされるまで、**[完了]**になることはありません。オリジナルのリクエストで作業しているリソースが作業を終了し、ステータスが**[完了済み]**に設定されると (**[達成率 (%)]**は**[100%]**に設定されると)、参照パッケージのステータスは、**[完了 (保留中のリクエスト)]**になります。リクエストがクローズされると、参照パッケージは**[完了済み]**に設定されます (ユーザが他のリクエストフィールドの編集を禁止されることはありません)。

4 リクエストの処理と管理

リクエストの処理と管理の概要

新規リクエストは、HP Demand Management で送信後に、処理および管理ができます。処理とは、リクエストを更新し、アサインされたワークフローステップに従って進ませることで、管理とは、リクエストの印刷や削除などのアクションを実行することです。

注意が必要なリクエストを見つけるには、次のいずれかを実行します。

- **ポートレットを表示します。** HP Demand Management リクエストポートレットをカスタマイズして、特にユーザ自身にアサインされたリクエストのみを表示します。
- **検索を実行します。** [リクエストの検索] ページを使用します。
- **通知を受信します。** Demand Management では、リクエストタイプまたはワークフローから通知させることができます。リクエストがワークフローステップに従って進むにつれ、電子メールを送信して保留中のアクションを通知できます。通知には、クリックすると参照リクエストが開くリンクを含めることもできます。

PPM Center にログオンすると、参照リクエストが開きます。ログオンしない場合、ログオンページが開きます。ログオンすると、参照リクエストが開きます。

次の場合に電子メールで通知を送信するようにリクエストタイプを設定できます。

- リクエストが特定のワークフローステップまで移動
- 特定のフィールドの値を変更

リクエストの検索

この項では、HP Demand Managementでのリクエストの検索方法に関する情報について説明します。次の方法でリクエストを検索できます：

- 基本検索を実行する
- 詳細検索を実行して、リクエストタイプ固有のフィールドに基づいてリクエストを検索する
- クエリビルダを使用する
- リクエストブラウザで検索する

基本リクエスト検索の実行

リクエスト番号に基づいて基本リクエスト検索を実行するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. **[検索]**メニューで、**[リクエスト]**をクリックします。
[リクエストの検索] ページが開きます。
3. 次のいずれかを実行します。
4. **[詳細を表示するリクエスト番号]** フィールドに、リクエストの番号を入力します。
5. **[実行]** をクリックします。

リクエストを検索しすべてのリクエストをリスト表示するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. **[検索]**メニューで、**[リクエスト]**をクリックします。
[リクエストの検索] ページが開きます。
3. **[検索]** をクリックします。

1つまたは複数のリクエストフィールドの値に基づいてリクエストを検索するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. **[検索]**メニューで、**[リクエスト]**をクリックします。
[リクエストの検索] ページが開きます。
3. **[表示するリクエストの検索]** セクションで、1つまたは複数の有効なフィールドに値を入力します。
4. **[列の選択]** セクションで、次の手順を実行します。
 - a. **[利用できる列]** リストから、検索結果に表示する列を選択します。
 - b. 右向き矢印を使用して、選択した列見出しを**[選択した列]** リストに移動します。
 - c. 右向き矢印と左向き矢印を使用して、検索結果の列の順序を事前に調整します。
5. これらの検索プリファレンスを保存するには、次の手順を実行します。
 - a. **[次の名前での検索を保存]** フィールドに、検索の名前を入力します。
 - b. **[保存]** をクリックします。
6. **[検索]** をクリックします。

PPM Centerでページを移動すると、表示したページがトラッキングされます。PPM Centerの上部でこれらのページへのリンクを確認できます。



前のページに戻るには、対応するリンクをクリックします。

詳細リクエスト検索の実行

詳細検索を実行して、リクエストタイプ固有のフィールドに基づいてリクエストを検索できます。

詳細リクエスト検索を実行するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. **[検索]**メニューから、**[リクエスト]**をクリックします。
[リクエストの検索] ページが開きます。
3. **[表示するリクエストの検索]**セクションで、**[リクエストタイプ]** オートコンプリートを使用して、検索に含める1つまたは複数のリクエストタイプを選択します。
これで、**[詳細検索]** ボタンが有効になります。
4. **[詳細検索]** をクリックします。
[検索] ページに、選択したリクエストタイプのフィールドが表示されます。
5. 任意のリクエストタイプフィールドに入力します。
6. 検索プリファレンスを保存するには、次の手順を実行します。
 - a. **[次の名前での検索を保存]** フィールドに、詳細検索の名前を入力します。
 - b. **[保存]** をクリックします。
7. **[検索]** をクリックします。

PPM Dashboard でページを移動すると、表示したページがトラッキングされます。PPM Dashboardの上部でこれらのページへのリンクを確認できます。



[検索結果] ページなどの前のページに戻るには、このページの上部にある対応するリンクをクリックします。

クエリビルダを使用したリクエストの検索

リクエストを検索するには、一般的なリクエストフィールドに基づく単純検索、および1つまたは複数のリクエストのリクエストフィールドに基づくより詳細な検索を実行できます。管理者から「Demand Management: アクセスリクエストクエリビルダ」アクセス許可をアサインされている場合、リクエストクエリビルダを使用して、リクエストタイプ固有のフィールドのカスタム検索クエリを作成することもできます。クエリビルダには、HP Demand Managementの[リクエストの検索]ページからアクセスします。

リクエストクエリのコンポーネント

クエリビルダを使用してリクエストクエリを構築するには、複数の検索用語を論理演算子で結合し、比較演算子を使用して検索用語を定義できます。検索用語のフォームは次のとおりです。

< **フィールド名** > < **比較演算子** > < **値** >

ここで

<**フィールド名**> リクエスト上のフィールドを表します。

<**比較演算子**> 表 4-1 にリストされている演算子の1つを表します。

<**値**> フィールドが受け入れられる1つまたは複数の値を表します。

リクエストクエリを構築するための比較演算子

表 4-1 に、HP Demand Management でリクエストクエリを構築するためにサポートされている比較演算子をリストします。[説明]列の「左側の値」とは、検索用語内の<**フィールド名**>で特定するリクエストフィールド(リクエストオブジェクト内)の値を指します。「右側の値」とは、検索用語(クエリビルダ内)に指定する<**値**>を指します。

表 4-1. クエリを構築するためにサポートされている演算子

演算子	記号	値	説明
次の値より大きい	>	数字 / 日付	左側の値が右側の値より大きいです。
次の値より小さい	<	数字 / 日付	左側の値が右側の値より小さいです。
次の値以上	>=	数字 / 日付	左側の値が右側の値以上です。
次の値以下	<=	数字 / 日付	左側の値が右側の値以下です。
次の値と等しい	=	数字 / 日付	左側の値が右側の値と等しいです。
		文字列	左側の値が右側の値と同じです (大文字と小文字を区別しない一致)。
次の値と等しくない	!=	数字 / 日付	左側の値が右側の値と等しくありません。
		文字列	左側の値が右側の値と同じです (大文字と小文字を区別しない一致)。
In	IN	数字 / 日付	左側の値が右側にリストされているいずれかの値に一致します。
		文字列	左側の値が右側にリストされているいずれかの値に一致します。
Not in	NOT IN		
含む	含む	文字列	右側の文字列は左側の文字列のサブ文字列です。
前方一致	startswith	文字列	右側の文字列は左側の文字列の先頭です (大文字と小文字を区別しない)。
後方一致	endswith	文字列	右側の文字列は左側の文字列の末尾です (大文字と小文字を区別しない)。

リクエストクエリを構築するための論理演算子

クエリを構築するための論理演算子は、AND、OR、およびNOTです。

これらの演算子は次のように使用できます。

- AND/ORを使用して、複合クエリ内の複数の検索用語をリンクします。
- 任意の検索用語の前にNOT演算子を付けます。例:

```
Priority='High' AND Status='InProgress' AND NOT AssignedTo  
IN {'johndoe','janedoe'}
```

クエリ内の検索用語のグループ化

1つまたは複数の検索用語を括弧でグループ化し、複雑なクエリを作成できます。例:

```
(StartedOn > 6/6/09 AND StartedOn < 6/13/09) OR (StartedOn >  
6/13/09 AND StartedOn < 6/20/09)
```

リクエストブラウザを使用したリクエストの検索

リクエストを参照するには、次の手順を実行します。

1. [開く]メニューで、[Demand Management] > [リクエストブラウザ] > [リクエストの参照]をクリックします。

[リクエストの参照] ページが開きます。

2. [リクエストタイプ] フィールドに、検索しているリクエストのリクエストタイプを入力します。



複数のリクエストタイプを選択した場合、[リクエストの参照] ページでは、選択したすべてのリクエストタイプに共通のフィールドのみ有効になります。

3. 検索の基となるすべてのフィールドの情報を入力します。



クエリビルダを使用して、参照するリクエストを検索することもできます。この方法については、「クエリビルダを使用したリクエストの検索」(73 ページ)を参照してください。

4. [リクエストリストの列の選択] セクションで、参照するリクエストページに含める利用できる列を選択します。

5. **[選択した列]** フィールドの右側にある上矢印と下矢印を使用して、列の表示順序を変更します。
6. **[リクエストブラウザツリーでグループ化するフィールドを選択]** セクションで、リクエストブラウザツリーでグループ化する最大5つのフィールドを選択します。



少なくとも1つのフィールドを選択する必要があります。

7. **[選択したフィールド]** フィールドの右側にある上矢印と下矢印を使用して、フィールドの表示順序を変更します。
8. この検索を保存するには、**[次の名前でのこのプリファレンスセットを保存]** フィールドにその名前を入力します。
9. **[参照]** をクリックします。

リクエストを開いて更新

必要なセキュリティアクセス許可がある場合、HP Demand Management リクエストを開いて更新できます。この中には、次の操作が含まれます。

- リクエストの検索
- リクエストを開く
- リクエストフィールドの情報の変更
- リクエストに対するメモまたは参照の追加
- 利用できるアクションの実行

次の項では、これらのタスクについて説明します。



PPM Center インスタンスが複数の言語をサポートしている場合、リクエストタイプを定義した言語でのみ変更できます。現在のセッション言語と別の言語で定義されていたため、リクエストタイプを編集できない場合は、PPM Center をログアウトしてから、再度ログオンし、今回はセッション言語としてリクエストタイプの定義言語を選択します。詳細については、『Multilingual User Interface Guide』を参照してください。

ポートレットからリクエストを開く

HP Demand Management リクエストポートレットには、リクエストの詳細ページへのリンクが含まれています。リクエストに関連付けられている詳細ページを開くには、HP Demand Management ポートレットで、**[リクエスト番号]** リンクをクリックします。



[リクエストリスト] ポートレットは、PFM - 資産、PFM - 提案、PFM - プロジェクト、プロジェクト詳細などのリクエストタイプのスタッフィングプロファイル、財務ベネフィット、参照ドキュメントの詳細ビューへのリンクも表示できます。このドリルダウン機能は、セキュリティベースです。エンティティに対する「表示」、「編集」、「すべて表示」、「すべて編集」のアクセス権限がない場合、関連付けられている値はリンクとして表示されません。

HP Demand Management ポートレットについては、「[ポートレットを使用したリクエストの管理](#)」(99 ページ)および「[\[デマンドマネージャ\] ページ上のポートレット](#)」(109 ページ)を参照してください。

電子メール通知からリクエストを開く

一部のワークフローステップは、アクティブ化時に電子メールで通知を送信するように設定されています。ほとんどの電子メールでの通知には、リクエストへのリンクが含まれています。

関連付けられているリクエストを開くには、そのリンクをクリックします。PPM Center にログオンすると、参照リクエストが開きます。PPM Center にログオンしていない場合、**[PPM Center ログオン]** ページが開きます。ログオンすると、参照リクエストが開きます。

メニューバーからリクエストを開く

メニューバーからリクエストを開くには、次の手順を実行します。

1. PPM Center にログオンします。
2. **[検索]** メニューで、**[リクエスト]** を選択します。
3. **[リクエストの検索]** ページで検索基準を入力して、**[検索]** をクリックします。
4. **[リクエスト検索結果]** ページの **[リクエスト番号]** 列で、開くリクエストに対応した番号をクリックします。

リクエストの詳細ページが開きます。

基本的なリクエスト編集の実行

基本的なリクエスト編集を実行するには、次の手順を実行します。



PPM Center インスタンスが複数の言語をサポートしている場合、リクエストタイプを最初に定義した言語でのみ変更できます。現在のセッション言語と別の言語で定義されていたため、リクエストタイプを編集できない場合は、PPM Center をログアウトしてから、再度ログオンし、今回はセッション言語としてリクエストタイプの定義言語を選択します。詳細については、『Multilingual User Interface Guide』を参照してください。

1. 編集するリクエストを開きます。

[**利用できるアクション**] セクションには、実行する権限があるアクションのボタンが表示されます。

2. リクエストに対してアクションを実行するには、[**利用できるアクション**] セクションでボタンをクリックします。

[**受け入れ**] や [**却下**] など、一部のアクションはリクエストをワークフローの次のステップに移動し、追加入力は不要です。[**リソースのアサイン**] や [**意思決定の委任**] などの他のアクションでは、追加情報を入力する必要があります。

リクエストに対して実行しているアクションでさらに情報の入力が必要な場合、リクエストの [Lookahead] ページが開きます。アクションを完了するために、赤色のアスタリスクが付いている必須フィールドに情報を入力します。



すぐにすべての情報を入力できない場合、[Lookahead] ページの [**保存**] をクリックして、これまで入力した情報を保存してください。

一部のアクションは、フィールドのステータスを変更します。たとえば、無効なフィールドを有効あるいは必須 (赤色のアスタリスク付き) にできます。新たに有効または必須になったフィールドについては、[**ヘッダー**] セクションと [**詳細**] セクションを確認してください。

リクエストには、別のリクエスト (または他の参照エンティティ) が完了するまで保留中にする参照リレーションシップを設定できます。リクエストにこのような参照リレーションシップがある場合、[**利用できるアクション**] セクションに [**オーバーライド**] ボタンがあります。参照リレーションシップをオーバーライドし、リクエストがワークフローに従って続行できるようにするには、[**オーバーライド**] をクリックします。

3. **[ヘッダー]** セクションで、必要に応じてフィールドに入力します。

[ヘッダー] セクションには、リクエストに関する一般的な情報が含まれています。必須フィールドには、赤色のアスタリスクが付いています。他のすべてのフィールドはオプションです。特定のフィールドに関する情報については、フィールドの横にある **[ヘルプ]** アイコン (使用可能な場合) をクリックします。

必要に応じて、リクエストタイプを変更できます。たとえば、バグリクエストを機能拡張リクエストに変更できます。

リクエストタイプの変更には、リクエストに関連付けられているフィールドの変更も含まれます。リクエストタイプを変更する場合のデータ入力を簡略化するために、**HP Demand Management** では、オリジナルのリクエストタイプのフィールドを新しいリクエストタイプのフィールドにマップします。新規フィールドには値は含まれていません。リクエストタイプを変更するには、**[リクエストタイプ]** フィールドの横にある **[変更]** をクリックします。



リクエストのリクエストタイプを変更すると、リクエストプロセスが再起動されます。つまり、プロセスはアサインされたワークフローの最初のステップから再スタートします。リクエストでは、任意のメモと共通するフィールドが保持されます。

4. **[詳細]** セクションで、必要に応じてフィールドに入力します。

[詳細] セクションには、リクエストに関する特定の情報が含まれています。このセクションには、サブセクションを設定できます。必須フィールドには、赤色のアスタリスクが付いています。特定のフィールドに関するその他の情報を表示するには、フィールドの横にある **[ヘルプ]** アイコン (使用可能な場合) をクリックします。

5. **[メモ]** セクションには、記録するリクエストに関する追加情報を入力します。

[メモ] セクションには、リクエストに関するメモを入力できるフィールドがあります。メモを追加するには、**[メモの追加]** セクションで、データを入力します。リクエストを保存すると、メモが追加されます。

既存のメモは、**[既存のメモ]** セクションで表示します。最新のメモがリストの一番上になり、既存のメモは時系列順にリスト表示されます。表示対象のメモをフィルタするには、次の1つまたは複数の操作を実行します。

- ユーザが入力したメモのみ表示するには、**[ユーザメモのみ表示]** チェックボックスを選択します。
- 特定のユーザが追加したメモを表示するには、**[メモの作者]** リストからユーザ名を選択します。
- 特定のフィールドの変更された値に関連するメモのみ表示するには、**[変更済みフィールド]** リストからフィールド名を選択します。

6. **[ステータス]** セクションで、リクエストステータスをレビューします。

[ステータス] セクションには、すべてのワークフローステップと各ステップのステータスがリストされます。現在のワークフローステップが強調表示されています。

ワークフローステップのリストに加えて、**[ステータス]** セクションには、次のリンクも含まれています。

- **[グラフィックビュー]**: リクエストに関連付けられているワークフローが表示されます。
- **[承認の詳細]**: 承認されたワークフローステップと完了したワークフローステップの詳細ビューが表示されます。
- **[トランザクションの詳細]**: 完了した各ワークフローステップの詳細情報が表示されます。

ワークフローステップが実行ワークフローステップの場合、リクエストの**[実行ログ]** にリンクされている可能性があります。特定のワークフローステップのリクエストの**[実行ログ]** を表示するには、**[ステップステータス]** 列で **[log]** をクリックします。

適格なステップでアクションを実行するのに必要なアクセス許可がある場合、**[ステップステータス]** 列には **[利用できるアクションの表示]** リンクが表示されます。ワークフローステップの**[アクション]** ページを表示するには、**[利用できるアクションの表示]** をクリックします。

[アクション] ページで利用できるアクションは、リクエストのタイトルセクションに表示されるアクションと同じです。リクエストを次のワークフローステップに移動するには、アクションを完了します。

7. [参照] セクションを使用して、参照をリクエストに追加します。

既存の参照は、[参照] セクションのサブセクションで閲覧できます。既存の参照は、エンティティタイプでグループ化されています。たとえば、参照リクエストは[リクエスト] セクションにリスト表示されています。

既存の参照のリレーションシップを変更するには、[リレーションシップ] リストから、別のリレーションシップを選択します。参照を削除するには、参照名の左側にある[削除] アイコンをクリックします。

場合によっては、インターネットでアクセス可能なファイルを参照したり、ローカルマシンのドキュメントまたはファイルを現在のリクエストに添付したりする場合があります。パッケージ、タスク、他のリクエストなど他のエンティティをリクエストへの参照として追加することもできます。参照の追加方法については、「リクエストへ参照を追加」(32 ページ) を参照してください。

8. [保存] をクリックします。

PPM Dashboard でページを移動すると、表示したページがトラッキングされます。PPM Dashboard の上部でこれらのページへのリンクを確認できます。



前のページに戻るには、ページの上部にある対応するリンクをクリックします。

リクエストの同時編集

2人のユーザが同時に同じリクエストを編集して、[保存]をクリックした場合、HP Demand Managementでは、両方のユーザが行った変更を保存しようとし、変更が保存されていない場合、HP Demand Managementは入力したユーザに通知し、そのユーザに再度変更を行い保存するよう促します。



PPM Center インスタンスが複数の言語をサポートしている場合、リクエストタイプを定義した言語でのみ変更できます。現在のセッション言語と別の言語で定義されていたため、リクエストタイプを編集できない場合は、PPM Center をログアウトしてから、再度ログオンし、今回はセッション言語としてリクエストタイプの定義言語を選択します。詳細については、『Multilingual User Interface Guide』を参照してください。

例: 2人のユーザによるフィールドの編集

2人のユーザ、OtumboとMonetteが別の場所で作業し、同じリクエストを編集しています。

- Otumboは、[アサイン先] フィールドと [部署] フィールドに変更を加え、[メモ] フィールドにテキストを追加します。
- Monetteは、[アサイン先] フィールドと [会社] フィールドに変更を加え、[メモ] フィールドにテキストを追加します。

1. Otumboが最初に [保存] をクリックします。

彼のすべての変更が保存されます。

2. Monetteが次に [保存] をクリックします。

Monetteの [メモ] は保存されますが、リクエストの上部のメッセージによると、別のユーザがリクエストに対して変更を行ったことが通知され、それらの変更が表示されます。Monetteは、[アサイン先] フィールドと [会社] フィールドに対する変更を再入力する必要があります。

3. Monetteは、再度 [アサイン先] フィールドと [会社] フィールドの値を変更し、[保存] をクリックします。

変更内容が保存されます。

例: 2人のユーザによるフィールドとワークフローアクションの編集

2人のユーザ、**Otumbo**と**Monette**が別の場所で作業し、同じリクエストを編集しています。どちらのユーザにも、リクエストを次のワークフローステップに進めるアクセス許可があります。

1. **Otumbo**は、リクエストの[**メモ**]セクションに変更を加え、ワークフローアクションボタンをクリックします。

Otumboの変更が保存され、リクエストがそのワークフローに従って先に進みます。

2. **Monette**は、添付ファイルをリクエストに追加し、ワークフローアクションボタンをクリックします。

リクエストへの添付ファイルは保存されますが、リクエストの上部にあるメッセージによって、**Monette**に彼女が試行したワークフローアクションが既に実行されていることが通知されます。それ以上のアクションは不要です。

例: 並列ワークフローステップ

Otumboと**Monette**は、ワークフローの並列ブランチに従って処理されている同じリクエストを編集しています。どちらのユーザも、問題なく別個に並列ブランチに従ってリクエストを処理できます。

クイック編集: 複数のリクエストの同時編集

HP Demand Management のクイック編集機能を使用すると、1つのページから多数のリクエストを同時に変更できます。編集するリクエストを検索するだけです。結果のリストから編集するリクエストを選択して、[クイック編集]をクリックします。選択したリクエストが、[リクエストの変更] ページのスプレッドシート形式のインタフェースに1行ずつ表示されます。リストされている各リクエストの有効なフィールドを個別に編集してから、それらすべてのフィールドを同時に保存できます。

クイック編集の実行は、たとえば、次のような場合に便利です。

- アサインされていないリクエストを検索して、処理する必要がある20個の新規リクエストが検索されたとします。これらのリクエストのうち15個を特定のリソースにすぐにアサインし、それぞれに優先度を指定します。
- DEM - アプリケーションバグタイプの新しいリクエストをすべて検索した後、優先度を指定し、それぞれに正しいアプリケーションが指定されていることを確認します。

クイック編集を実行する際の注意

HP Demand Management で実行するクイック編集には、次の制限があります。

- クイック編集は、すべて同じタイプのリクエストでのみ実行できます。このため、リクエストを検索してクイック編集を実行する場合、1種類のリクエストタイプのみ選択してください。
- クイック編集中は、複数のリクエストに対して設定される高度なUIルールは機能しません。たとえば、フィールドを動的に表示/非表示にする、フィールドスタイリングを変更する、またはフィールドを必須にするために定義されるUIルールは、ユーザがクイック編集の実行中は適用されません。ただし、リクエストの保存時に、ユーザが行った他の編集に基づいて動的に、必須となるフィールドが強制されます。
- クイック編集中は、標準のリクエストフィールド（テキストフィールド、日付フィールド、リストなど）は更新できますが、添付ファイル、テーブルコンポーネント、エンティティセレクトコンポーネント（スタッフインングプロファイルなど）などの複雑なコンポーネントは編集できません。

- クイック編集では、ワークフローアクションを実行したり、基本的なフィールド値以外のリクエストの要素を更新したりできません。たとえば、クイック編集中は、メモの追加、参照の更新、リソースの管理を行うことはできません。
- PPM Center インスタンスが複数の言語をサポートしている場合、リクエストタイプを定義した言語でのみ編集できます。現在のセッション言語と別の言語で定義されていたため、リクエストタイプを編集できない場合は、PPM Center をログアウトしてから、再度ログオンし、今回はセッション言語としてリクエストタイプの定義言語を選択します。詳細については、『Multilingual User Interface Guide』を参照してください。

クイック編集: エラー処理

[保存] または [完了] をクリックすると、システムでは、更新されたすべてのリクエストを保存しようとします。問題が発生すると、保存できなかったリクエストのリスト、および保存が失敗した理由を表示します。

エラーは次の場合に発生する可能性があります:

- 変更を保存する前に、リクエストが別のセッションの別のユーザによって更新された場合。
- 保存時に空のフィールドを必須にする UI ルールがトリガされた場合 (「クイック編集を実行する際の注意」(84 ページ) を参照)。

クイック編集の実行

リクエストのセットでクイック編集を実行するには、次の手順を実行します。

1. 更新する同じタイプのリクエストのセットを検索します。

[リクエスト検索結果] ページが開き、検索結果がリスト表示されます。

リクエスト番号	リクエストタイプ	説明	ステータス	アサイン先	優先度	作成者	部署
<input type="checkbox"/> 30247	DEM - アプリケーションバグ	DEM - バグ リクエスト ワークフロー	新規		通常	Admin User	製造
<input type="checkbox"/> 30246	DEM - アプリケーションバグ	DEM - バグ リクエスト ワークフロー	新規		通常	Admin User	製造
<input type="checkbox"/> 30157	DEM - アプリケーションバグ	DEM - Bug Request Workflow	新規		通常	Admin User	財務
<input type="checkbox"/> 30143	DEM - アプリケーションバグ	PPM LQAing test entry1221	新規 (保留中の参照 - 0%)	Fredrick Schmidt	重穴	Admin User	IS
<input type="checkbox"/> 30138	DEM - アプリケーションバグ	PPM LQAing test entry1221	新規	Ayako Yoshida	通常	Admin User	発注エンリ
<input type="checkbox"/> 30126	DEM - アプリケーションバグ	PPM LQAing test entry1221	新規 (保留中の参照 - 0%)	Fredrick Schmidt	重穴	Admin User	IS
<input type="checkbox"/> 30125	DEM - アプリケーションバグ	PPM LQAing test entry1221	新規 (保留中の参照 - 0%)	Ayako Yoshida	通常	Admin User	発注エンリ

2. クイック更新を実行するリクエストのチェックボックスを選択します。

3. リクエストのリストの下にある [編集] をクリックして、[クイック編集] を選択します。

リクエスト番号	リクエストタイプ	説明	リクエストステータス	アサイン先	優先度	リクエスト者	リクエスト者の部署	作成日時	ワークフロー
30246	DEM - アプリケーションバグ	DEM - バグ リクエスト ワークフロー	新規		通常	Admin User	製造	2011/01/18	DEM - バグ リクエスト ワークフロー
30247	DEM - アプリケーションバグ	DEM - バグ リクエスト ワークフロー	新規		通常	Admin User	製造	2011/01/18	DEM - バグ リクエスト ワークフロー

[リクエストの変更] ページが開き、選択したリクエストがリストされます。

- 編集するリクエストが表示されている行をクリックします。
編集する権限を与えられているフィールドが有効になります。



- 編集する有効なフィールドに対して変更を行います。
- 残りの各リクエストについて、手順4と手順5を繰り返します。
- 更新内容を保存し、[リクエストの変更] ページを表示したままにするには、[保存] をクリックします。更新内容を保存し、[リクエストの変更] ページを閉じるには、[完了] をクリックします。



リクエストブラウザからクイック編集機能を使用することもできます。リクエストブラウザを使用してリクエストを検索する方法については、「リクエストブラウザを使用したリクエストの検索」(75 ページ)を参照してください。

PPM Dashboard でページを移動すると、表示したページがトラッキングされます。PPM Dashboard の上部でこれらのページへのリンクを確認できます。



[検索結果] ページなどの前のページに戻るには、このページの上部にある対応するリンクをクリックします。

一括更新: 複数のリクエストに対するアクションの同時実行

同じタイプの複数のリクエストに対して同じアクションを実行する場合、リクエスト一括更新機能を使用できます。所定のタイプのリクエストだけを検索し、個々のリクエストを更新するのではなく、リクエストのセット全体を更新します。

次のような場合に、一括更新が役立ちます。

- 開発マネージャが新規の不具合リクエストすべてを検索します。そのうちの20個を同じ開発者にアサインします。この中には、20個すべてのリクエストの[アサイン先]フィールドの更新、およびそのステータスの新規からアサイン済みへの変更が含まれています。
- 現在、15個のリクエストがあなたにアサインされています。あなたは長期休暇を取得するため、これらすべてのリクエストを別のエンジニアに再アサインする必要があります。
- 同じ特定の利害関係者を特定の顧客アカウントからのエスカレーションに追加して、アクティビティによって生成された電子メールの管理をこれらのエスカレーションにコピーできるようにする必要があります。

このような場合は、リクエスト一括更新によって素早く簡単に処理できます。

一括更新を実行する際の注意

リクエスト一括更新機能を使用する場合、次の制限事項に注意してください。

- バッチ更新では、1種類のリクエストタイプのみサポートされています。
- 標準のリクエストフィールド(テキストフィールド、日付フィールド、リストなど)、ワークフローアクションを更新でき、メモをリクエストに追加できます。添付ファイル、テーブルコンポーネント、エンティティセレクタコンポーネント(スタッフィングプロファイルなど)などの複雑なコンポーネントに対して、一括更新は実行できません。
- 一括更新中は、複数のリクエストに対して設定される高度なUIルールは機能しません。たとえば、フィールドを動的に表示/非表示にする、フィールドスタイリングを変更する、フィールドを必須にするために定義されるUIルールは、ユーザが一括更新の実行中は適用されません。ただし、リク

エストの保存時に、ユーザが行った他の編集に基づいて動的に、必須となるフィールドが強制されます。

- 更新するために選択したすべてのリクエストが同じワークフローステップでアクティブな場合、すべてのリクエストのそのステップに対してアクションを実行できます。ただし、一度に1つのアクティブなワークフローステップのみ更新できます。

さらに、更新がどのように自動化プロセスに影響を与えるかを考慮してください。何らかの更新を実行すると、続けて他の依存フィールドの更新がトリガされる可能性があります。



PPM Center インスタンスが複数の言語をサポートしている場合、リクエストタイプを最初に定義した言語でのみ変更できます。現在のセッション言語と別の言語で定義されていたため、リクエストタイプを編集できない場合は、PPM Center をログアウトしてから、再度ログオンし、今回はセッション言語としてリクエストタイプの定義言語を選択します。詳細については、『Multilingual User Interface Guide』を参照してください。

一括更新: エラー処理

[保存] または [完了] をクリックすると、システムでは、更新されたすべてのリクエストを保存しようとしています。問題が発生すると、保存できなかったリクエストのリスト、および保存が失敗した理由を表示します。

エラーは次の場合に発生する可能性があります:

- 変更を保存する前に、リクエストが別のセッションの別のユーザによって更新された場合。
- 保存時に空のフィールドを必須にする UI ルールがトリガされた場合 (「一括更新を実行する際の注意」(88 ページ) を参照)。

一括更新の実行

リクエスト一括更新機能を使用するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. **[検索]**メニューで、**[リクエスト]**をクリックします。
3. 更新するリクエストタイプのリクエストを検索します。
4. **[リクエスト検索結果]** ページで、更新するリクエストのチェックボックスを選択します。
5. **[編集]**をクリックし、**[一括更新]**を選択します。

[リクエストの変更] ページが開き、選択したリクエストがリストされます。

6. 次のいずれかを実行します。
 - **[利用できるアクション]** セクションが使用可能な場合、アクションボタンをクリックして、選択したすべてのリクエストの同じワークフローステップに対してアクションを実行できます。
 - すべてのリクエストに対して同じ説明を入力するには、**[説明]**列の下
のフィールドに入力します。

すべてのリクエストの**[説明]**フィールドを空にするには、**[説明]**列
の下にある**[空白にする]**チェックボックスを選択します。

- 同じリソースをすべてのリクエストにアサインするには、**[アサイン先]**
列の下にあるオートコンプリートを使用して、アサインするリソース
の名前を指定します。

すべてのリクエストの**[アサイン先]**フィールドを空にするには、**[ア
サイン先]**列の下にある**[空白にする]**チェックボックスを選択します。

- 同じ優先度をすべてのリクエストにアサインするには、**[優先度]**列の
下にある**[優先度]**リストから、優先度の値を選択します。

すべてのリクエストの**[優先度]**フィールドを空にするには、**[優先度]**
列の下にある**[空白にする]**チェックボックスを選択します。



フィールドがある列に対してのみ一括更新を使用できます。

7. **[完了]** をクリックします。

[リクエストバッチ更新の確認] ウィンドウが開き、行おうとしている変更がリスト表示されます。

8. リストされた内容が意図するものと同じかを確認するには、**[続行]** をクリックします。

▶ リクエストブラウザから一括更新機能を使用することもできます。リクエストブラウザを使用してリクエストを検索する方法については、「[リクエストブラウザを使用したリクエストの検索](#)」(75 ページ)を参照してください。

指定された何らかの変更を実装できなかった場合、警告アイコン  の横にあるページの左上隅に、その影響を示すメッセージが、保存できなかったすべてのリクエストと理由を説明する別のウィンドウへのリンクとともに表示されます。

PPM Dashboard でページを移動すると、表示したページがトラッキングされます。PPM Dashboard の上部でこれらのページへのリンクを確認できます。



[検索結果] ページなどの前のページに戻るには、このページの上部にある対応するリンクをクリックします。

リクエストの管理

HP Demand Management でリクエストを送信後、必要なアクセス許可を持つユーザは、ビジネス要件またはワークフローに対する変更に応じて、そのリクエストを表示、変更、または削除できます。

クローズしたリクエストの再オープン

ワークフローの事前設定されたステップでリクエストを再オープンすることができます。たとえば、不具合リクエストがクローズされていて、不具合が再発する場合、リクエストを再オープンできます。

リクエストを再オープンするには、次の手順を実行します。

1. PPM Center にログインします。
2. リクエストを検索し、オープンします。



リクエストをオープンする方法については、「[リクエストを開いて更新](#)」(76 ページ)を参照してください。

[リクエスト詳細] ページが開きます。

3. [ステータス] セクションまでスクロールします。
4. [リクエストの再オープン] をクリックします。

リクエストが再度開きます。

リクエストの削除

PPM Centerからは、保存されたリクエストのみ削除できます。リクエストを削除するには、「Demand Management: リクエストの編集」アクセス許可または「Demand Management: すべてのリクエストの編集」アクセス許可のいずれかが必要です。削除したリクエストは、開くことも、表示することもできなくなります。

リクエストを削除するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. リクエストを検索し、オープンします。



リクエストをオープンする方法については、「[リクエストを開いて更新](#)」(76 ページ)を参照してください。

[リクエスト詳細] ページが開きます。

3. ページの下部までスクロールします。
4. **[削除]** をクリックします。

HP Demand Management から、リクエストの削除の確認を求められます。

5. **[OK]** をクリックします。

リクエストのキャンセル

PPM Centerでは、保存されたリクエストのみキャンセルできます。保存されたリクエストをキャンセルするには、「Demand Management: リクエストの編集」アクセス許可または「Demand Management: すべてのリクエストの編集」アクセス許可のいずれかが必要です。

既存のリクエストをキャンセルするには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログインします。
2. リクエストを検索し、オープンします。
3. リクエストの詳細ページで、[ステータス] セクションまでスクロールします。
4. [リクエストのキャンセル] をクリックします。

HP Demand Managementから、キャンセルの確認を求められます。

5. [OK] をクリックします。

これで各ワークフローステップがキャンセルされ、リクエストステータスが [キャンセル済み] に設定されます。

リクエストの印刷

リクエストの詳細ページを印刷できます。



詳細ページの印刷用バージョンは、変更できません。

リクエストを印刷するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. リクエストを検索し、オープンします。



リクエストをオープンする方法については、「[リクエストを開いて更新](#)」(76 ページ)を参照してください。

[リクエスト詳細] ページが開きます。

3. ページの上部にある [**印刷用バージョン**] をクリックします。

ページの印刷用バージョンが、新しいブラウザウィンドウに開きます。

4. ページの印刷用バージョンで、[**印刷**] をクリックします。

リクエストの削除

複数のリクエストを同時に削除できます (必要なアクセス許可がある場合)。削除されたリクエストは、開くことも、表示することもできません。

複数のリクエストを削除するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. 削除するリクエストを検索します。

[検索結果] ページが開きます。

3. [**リクエスト検索結果**] セクションで、削除するリクエストのチェックボックスを選択します。

4. [**削除**] をクリックします。

Demand Management レポートを使用したリクエストの監視

HP Demand Management には、表 4-2 にリストされているレポートの事前定義されたセットがあります。「システム：レポートの送信」アクセス許可がある場合、いつでもこれらのレポートを生成してリクエストアクティビティを監視できます。

表 4-2. HP Demand Management レポート (1/2 ページ)

レポート名	説明
連絡先の詳細	リクエストの入力と更新が可能な HP Demand Management システムに入力済みの連絡先をクエリします。
デマンド作成履歴	指定されたデマンドセットのデマンド作成履歴を表示します。このレポートは、Microsoft Excel やその他のデータ分析ツールにリクエストデータをエクスポートするのに便利です。
SLA 違反履歴	指定されたデマンドセットの SLA 違反履歴を表示します。このレポートは、Microsoft Excel やその他のデータ分析ツールにリクエストデータをエクスポートするのに便利です。
リクエストのインポート	リクエストデータを検証し、HP Demand Management オープンインターフェイステーブルから標準 HP Demand Management データモデルにリクエストデータを読み込みます。
処理されたデマンドの履歴	指定されたデマンドセット用に処理されたデマンドの履歴を表示します。
リクエスト詳細	選択基準を複数使用してリクエストに関する情報を示します。
リクエスト詳細 (カスタムフィールドでフィルタ)	カスタムフィールドの値に基づいてリクエストをフィルタできる点を除き、リクエスト詳細レポートと類似しています。
リクエストヘッダータイプ詳細	リクエストヘッダータイプの設定の詳細を示します。セットアップを監査し、特定のリクエストヘッダータイプで発生する可能性がある問題をデバッグするのに便利です。

表 4-2. HP Demand Management レポート (2/2 ページ)

レポート名	説明
リクエスト履歴	選択された各リクエストの完全なワークフローとフィールド変更履歴をリスト表示します。詳細には、完全なリクエストワークフロー履歴と監査用に設定したフィールド、および部分実行された各ステップの各ステータス変更が含まれています。
デマンドリスト	組織またはリソースへのデマンドのリストを示します。このポートレットを設定して、デマンドタイプ、アサインされている優先度の値、デマンド処理状況などの基準に基づきフィルタされたデマンド情報を表示できます。
リクエストのクイックビュー	オープンしているリクエスト、クローズしたリクエストのサマ리를優先度に基づいて整理して示します。
リクエストサマリ	選択基準に一致するリクエストのグループの合計カウントを表示します。
リクエストサマリ (カスタムフィールドでフィルタ)	カスタムフィールドの値に基づいてリクエストをフィルタできる点を除き、リクエストサマリレポートと類似しています。
リクエストタイプ詳細レポート	カスタムフィールド、取り得るステータス値、デフォルトのロジック、および各リクエストタイプで使用されるコマンドに関する詳細を含む、リクエストタイプの設定情報を表示します。

PPM Center でのこれらのレポートとその他の事前定義されたレポートの設定および実行方法の詳細については、『Reports Guide and Reference』を参照してください。

HP Demand Management レポートの作成

HP Demand Management レポートを作成するには、次の手順を実行します。

1. PPM Center にログオンします。
2. **[作成]** メニューで、**[レポート]** をクリックします。
[新規レポートの送信] ページが開きます。
3. **[レポートカテゴリ]** リストから、**[Demand Management]** を選択します。
[レポートの送信:<レポート名>] ページが開きます。
4. 必要なすべてのフィールド、およびレポートの作成に使用する任意のフィールドに入力します。
5. **[送信]** をクリックします。

ポートレットを使用したリクエストの管理

HP Demand Management リクエストポートレットを使用すると、リクエスト情報を整理して表示し、さらに、表示されたデータをドリルダウンしてさらに詳細を表示できます。表 4-3 に、PPM Dashboard ページ (事前設定された [デマンドマネージャ] ページを含む) に追加して情報ニーズを満たすようにカスタマイズできる、デマンド関連ポートレットをリスト表示します。

[デマンドマネージャ] ページに表示されるデフォルトのポートレットについては、「[デマンドマネージャ] ページ上のポートレット」(109 ページ)を参照してください。ポートレットに表示される情報を設定する方法については、「ポートレットプリファレンスの設定」(114 ページ)を参照してください。

表 4-3. デマンド関連ポートレット (1/4 ページ)

ポートレット名	説明
[アサインキュー]	リソースにまだアサインされていないデマンドのカスタマイズ可能なビューを示します。このポートレットを使用して、リクエストにリソースをアサインします。
[デマンド集計]	組織に対するデマンドの概要を棒グラフで表示します。ドリルダウン機能により、表示されるリクエストに関する詳細を表示できます。
[デマンド (カテゴリ別)]	デマンドの様々な側面のグラフィカルサマリビューを示します。ポートレットに表示される情報は、[部署]、デマンドタイプ、[優先度] の値などに基づいて整理できます。特定のグループ化 (数) 内のデマンドエントリの個数、またはグループ化されたデマンドの統合された工数を基に、表示する情報を整理することもできます。
[デマンドリスト]	組織またはリソースへのデマンドのカスタマイズ可能なリストを示します。
[問題リスト]	プログラムに関連付けられているオープン済み問題をリスト表示します。

表 4-3. デマンド関連ポートレット (2/4 ページ)

ポートレット名	説明
[マイリクエスト]	現在のユーザによって作成されたか、あるいは、現在のユーザにアサインされたリクエストで、ユーザが実行できるワークフローステップにあるリクエストをすべて表示します。このポートレットは、最も緊急度の高いリクエストのビューを示します。デフォルトでは、ユーザが作成したか、あるいは、ユーザにアサインされているすべてのリクエスト (現在のアクティブなステップを持つ) を表示し、ユーザがポートレットをカスタマイズせずに情報を確認できるようにします。
[オープン済みリクエスト (優先度別)]	オープンされているリクエスト数をアサインされている優先度値別にグループ化したグラフィックビューです。オープンされている問題を視覚化し、グループ化できます。
[プログラムリスクリスト]	プログラムとプログラムにリンクされているプロジェクトに関連付けられているリスクをリスト表示します。ポートレットをカスタマイズして、プログラム、プロジェクト、インパクト、オカレンスの確率、[インパクトレベル]、その他の基準に基づいてリスクを表示できます。アサインされているアクティビティに関連するプログラムのみを表示するよう設定できます。
[プログラムのスコープ変更リスト]	<p>プログラムにリンクされているプロジェクトに関連付けられているスコープ変更リクエストをすべて表示します。このポートレットの複数のインスタンスを設定し、さまざまなプログラムおよびそれらがリンクされているプロジェクトに対して記録されているスコープ変更を表示することができます。</p> <p>カスタマイズして、[プロジェクト名]、[重要度]、[変更リクエストレベル] などの基準に基づいてスコープ変更リクエストを表示できます。</p>
[リクエスト アクティビティ]	過去2週間にオープンされたリクエスト数とクローズされたリクエスト数や、現在オープンしているリクエスト数など、一般的なアクティビティについての情報を示します。アクセスの多いリクエストタイプ、およびそのリクエストタイプの担当としてアサインされたグループやユーザを表示します。

表 4-3. デマンド関連ポートレット (3/4 ページ)

ポートレット名	説明
[リクエストリスト]	<p>リクエストに関する一般的な情報を表示します。これには、説明およびステータスが含まれます。[リクエスト番号] リンクをクリックすると、対応するリクエストの詳細ページを開くことができます。</p> <p>PFM - 資産、PFM - 提案、PFM - プロジェクト、プロジェクト詳細などのリクエストタイプのリクエストに対応する列を表示するよう設定し、必要なアクセス許可がある場合、PPM Centerの対応するエンティティへのリンクでもある、これらの値をクリックできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [スタッフィング プロファイル] ● [財務ベネフィット] ● [参照ドキュメント] <p>このポートレットのドリルダウン機能は、セキュリティベースです。エンティティに対する [表示]、[編集]、[すべて表示]、[すべて編集] のアクセス権限がない場合、その値はリンクとして表示されません。</p>
[リクエスト参照]	<p>[リクエスト参照] ポートレットは、[参照タイプ]、[リレーションシップ]、参照を追加した期間などのフィルタに基づいて、パッケージに関連付けられた参照をリストします。</p>
[リクエストサマリ]	<p>アサインされている [優先度]、[リクエストタイプ]、各カテゴリのリクエスト合計数など、リクエストのグループについての情報を表示します。任意のリクエスト、またはリクエストグループをドリルダウンできます。</p>
[リクエストサマリの棒グラフ]	<p>選択したリクエストに関してロールアップされた情報を棒グラフで表示します。その棒グラフが表わすリクエストのリストを表示するには、棒グラフをクリックします。</p>

表 4-3. デマンド関連ポートレット (4/4 ページ)

ポートレット名	説明
[リクエストサマリの円グラフ]	選択したリクエストに関してロールアップされた情報を円グラフで表示します。円グラフの部分が表わすリクエストのリストを表示するには、円グラフの部分をクリックします。
[SLA例外のロールアップ]	<p>アクティブなサービスレベルアグリーメント (SLA) に含まれる、すべてのオープンされているデマンドをグラフィック (棒グラフ) 表示します。SLAはリクエストタイプルールで設定されます。情報ニーズに応じて、[部署]、[アプリケーション]、デマンドタイプ、その他の基準に基づいてSLA情報をグループ化できます。</p> <p>違反は赤色で強調表示されます。違反するリクエストのリストを表示するには、[これらの例外の表示] をクリックしてください。</p>

HPには、デマンドマネージャが使用するリクエスト関連のデフォルトポートレットを含む、事前設定された [デマンドマネージャ] ページが用意されています。[デマンドマネージャ] ページの詳細とこのページを PPM Dashboard に追加する方法については、第 6 章「[デマンドマネージャ] ページ」(107 ページ)を参照してください。

5 リクエストとプロジェクトの統合

リクエストとプロジェクトの統合の概要

HP Demand Management と HP Project Management の両方を所有しているカスタマは、HP Demand Management のリクエストトラッキング機能を HP Project Management の送信可能日付と実際日付のトラッキング機能と統合できます。HP Demand Management と HP Project Management を統合することで、リクエストをインタロックイニシアティブのスケラブルなフレームワークへシームレスに折りたたむことができます。

タスクを HP Demand Management のリクエストにリンクしても、プロジェクトをサポートしている詳細アクティビティを即座に表示できます。プロジェクト、タスク、およびリクエスト間に指定可能なリレーションシップは次のとおりです。

- **リクエストに対するタスクの参照:** [タスクの詳細] ページの [参照] タブを使用すると、タスクを新規および既存のリクエストにリンクできます。
- **リクエストからのプロジェクトの参照:** [タスクの詳細] ページの [参照] タブを使用すると、リクエストから既存のプロジェクトを参照できます。リクエストからプロジェクトを参照する方法については、「[リクエストへの参照の追加の概要](#)」(31 ページ)を参照してください。
- **リクエストからのタスクの参照:** [タスクの詳細] ページの [参照] タブを使用すると、リクエストから既存のタスクを参照できます。リクエストからタスクを参照する方法については、「[リクエストへの参照の追加の概要](#)」(31 ページ)を参照してください。

リクエストとプロジェクトを統合すると、2つのエンティティ間に依存リレーションシップが確立されます。たとえば、リクエストをパッケージの先行タ

スクとして指定できます。これは、リクエストがクローズされるまでパッケージがそのワークフローに従って進めないことを意味します。表 5-1 は、リクエストとタスク間、およびリクエストとプロジェクト間に作成できる依存リレーションシップの一覧です。

表 5-1. 依存リレーションシップ

エンティティからエンティティ	依存リレーションシップ	説明
リクエストからタスク	このリクエスト関連	(情報) 選択したタスクはリクエストに関連付けられています。
リクエストからプロジェクト	このリクエスト関連	(情報) 選択したプロジェクトはリクエストに関連付けられています。
プロジェクトからリクエスト	このプロジェクト関連	(情報) 選択したリクエスト (新規または既存) はこのプロジェクトに関連付けられています。
タスクからリクエスト	このタスク関連	(情報) 選択したリクエストはタスクに関連付けられています。

リレーションシップの詳細については、「[リクエストの詳細ページ](#)、[\[参照\] セクション](#)」(62 ページ)を参照してください。

タスクからのリクエストの参照

タスクからリクエストを参照するには、次の手順を実行します。

1. PPM Center にログオンします。
2. **[検索]** メニューで、**[プロジェクト]** をクリックします。
[プロジェクトの検索] ページが開きます。
3. 検索基準を入力します。
4. **[検索]** をクリックします。
[プロジェクト検索] ページが再読み込まれ、検索結果が表示されます。
5. プロジェクトを開くには、**[プロジェクト名]** リストからプロジェクト名をクリックします。

6. **[プロジェクトサマリ]** タブで、**[作業計画]** セクションの上部にある **[作業計画の編集]** をクリックします。

[作業計画の表示] ページがスケジュールビューに開きます。

7. タスクのリストで、更新するタスクを選択し、**[タスクの詳細]** アイコンをクリックします。

[タスクの詳細] ページが開きます。

8. **[参照]** タブをクリックします。

9. **[新規参照]** リストから、**[リクエスト (既存)]** または **[リクエスト (新規)]** を選択します。

10. **[追加]** をクリックします。

[リクエスト (既存)] を選択した場合、**[参照の追加: リクエスト]** ページが開きます。**[リクエスト (新規)]** を選択した場合、**[新規リクエストの作成]** ウィンドウが開きます。

11. **[リクエスト (既存)]** を選択した場合、次の手順を実行します。それ以外の場合、[106 ページの手順 12](#)に進みます。

- a. **[参照の追加: リクエスト]** ページで検索基準を入力して、**[検索]** をクリックします。

[リクエスト検索結果] セクションに、検索基準に一致するリクエストがリスト表示されます。

- b. **[リクエスト検索結果]** セクションで、参照として追加するリクエストの横にあるチェックボックスを選択します。

- c. **[追加]** をクリックします。

[参照の追加: リクエスト] ページが閉じ、**[タスクの詳細]** ページが開きます。**[参照]** タブの **[保存時に追加される参照]** フィールドに、選択したリクエストが表示されます。

12. [リクエスト (新規)] を選択した場合、[新規リクエストの作成] ウィンドウで次の手順を実行します。

a. [リクエストタイプ] フィールドで、リクエストタイプを選択します。



リクエストとタスク間では、「このタスク関連」のみ指定できます。

b. [作成] をクリックします。

[新規 <リクエストタイプ> の作成] ウィンドウが開きます。

c. すべての必須情報（赤色のアスタリスクが付いている）と役立つ任意の情報を入力して、[送信] をクリックします。

[新規 <リクエストタイプ> の作成] ウィンドウが閉じ、[タスクの詳細] ページが開きます。[参照] タブの [保存時に追加される参照] フィールドに、今作成したリクエストが表示されます。

13. [完了] をクリックします。

リクエストはタスクに対して参照されます。[タスクの詳細] ページが閉じ、[作業計画の表示] ページが開きます。

14. 作業計画に対する変更を保存するには、[完了] をクリックします。

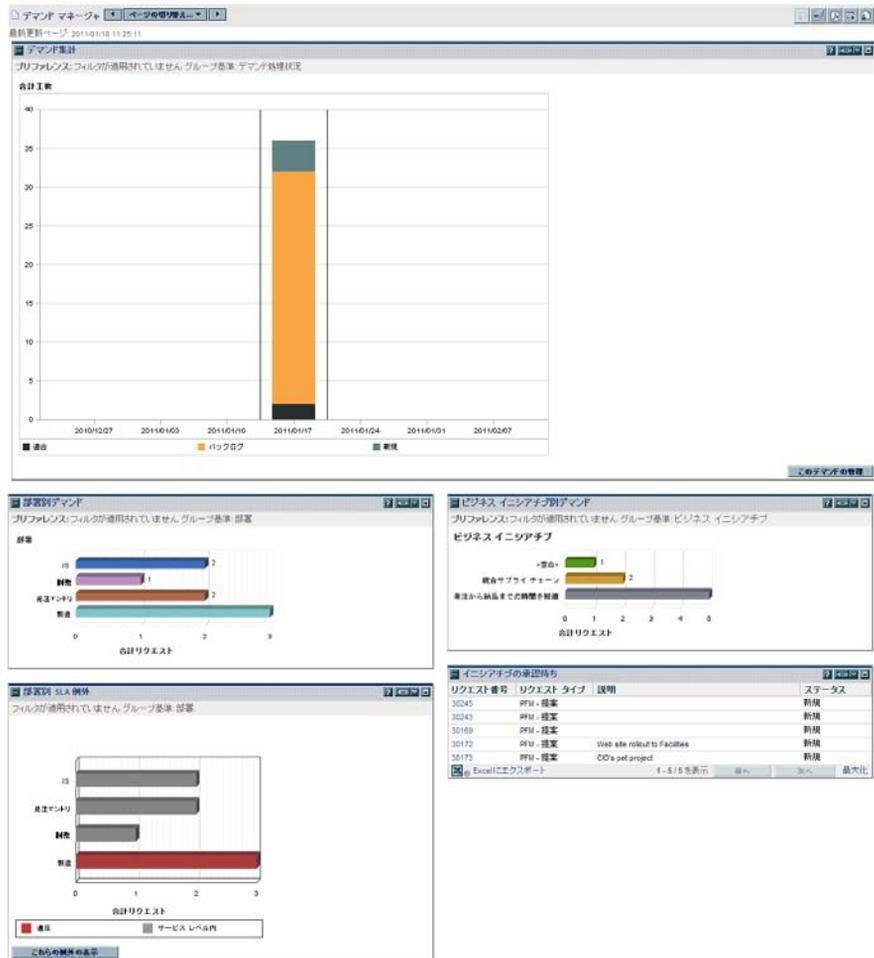
6 [デマンドマネージャ] ページ

[デマンドマネージャ] ページの概要

HP Demand Management には、デマンドマネージャが使用するデフォルトのポートレットセットを表示する、事前設定された [デマンドマネージャ] ページ (図 6-1 を参照) が用意されています。情報ニーズに応じて、ページ上に追加のデマンド関連ポートレットを表示し、各ポートレットが表示するデータをカスタマイズできます。

本章では、[デマンドマネージャ] ページに表示されるデフォルトのポートレットの説明、およびページに追加できるデマンド関連ポートレットについて説明します。[デマンドマネージャ] ページに表示されるポートレットをカスタマイズする方法に関する情報もあります。[デマンドマネージャ] ページを PPM Dashboard に追加する方法については、『スタートアップガイド』を参照してください。

図 6-1. [デマンドマネージャ] ページ



[デマンドマネージャ] ページ上のポートレット

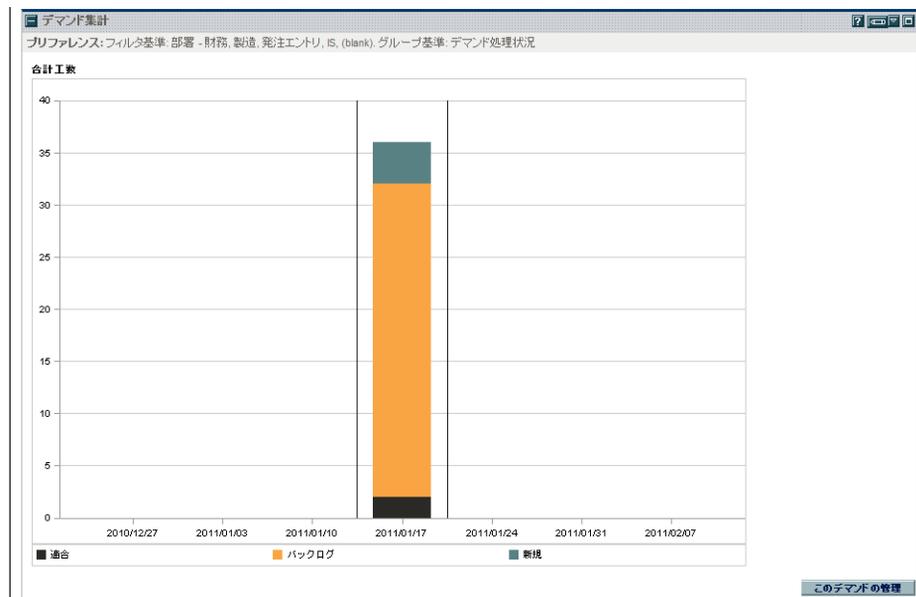
この項では、[デマンドマネージャ] ページに表示されるデフォルトのポートレットについて説明します。これらのポートレットをカスタマイズする方法については、「ポートレットプリファレンスの設定」(114 ページ)を参照してください。

[デマンド集計] ポートレット

[デマンド集計] ポートレット (図 6-2) は、組織へのデマンドの概要をグラフィックで示します。グラフのセクションをドリルダウンすると、デマンドカテゴリを満たすようにスケジューリング、デマンドを却下、表示するデータのフィルタを選択できます。

[デマンド集計] ポートレットの構成に使用できるすべてのフィルタフィールドの説明を表示するには、ポートレットの右上隅にある [ヘルプ] アイコン  をクリックします。

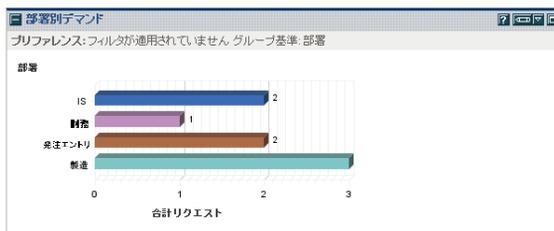
図 6-2. [デマンド集計] ポートレット



[部署別デマンド] ポートレット

[部署別デマンド] ポートレット (図 6-3) は、デマンドのさまざまな領域のグラフィカルサマリビューです。ポートレットをカスタマイズすると、[部署]、[デマンドタイプ]、[優先度] などに基づいてデマンド情報を表示できます。特定のグループ化 (数) 内のデマンドエントリの個数、またはグループ化されたデマンドの統合された工数を基に、ポートレットを構成してグループ化された情報を表示することもできます。

図 6-3. [部署別デマンド] ポートレット



[部署別デマンド] ポートレットを構成できるすべてのフィルタフィールドの説明を表示するには、ポートレットの右上隅にある [ヘルプ] アイコン  をクリックします。

[ビジネスイニシアチブ別デマンド] ポートレット

[ビジネスイニシアチブ別デマンド] ポートレット (図 6-4) は、デマンドのさまざまな側面のグラフィカルビューです。このポートレットは、デマンドを [部署]、[デマンドタイプ]、[優先度] などによってグループ化できるサマリを示します。

特定のグループ化 (数) 内のデマンドエントリの個数、またはグループ化されたデマンドの統合された工数を基に、ポートレットをカスタマイズしてグループ化された情報を表示することもできます。

図 6-4. [ビジネスイニシアチブ別デマンド] ポートレット



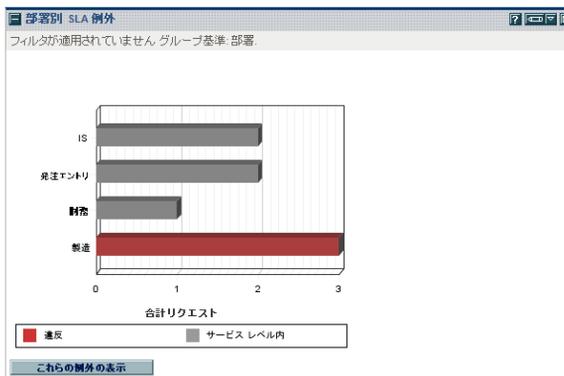
[ビジネスイニシアチブ別デマンド] ポートレット用に構成できるすべてのフィルタフィールドの説明を表示するには、ポートレットの右上隅にある [ヘルプ] アイコン  をクリックします。

[部署別SLA例外] ポートレット

[部署別SLA例外] ポートレット (図 6-5) は、サービスレベルアグリーメント (SLA) に含まれるすべてのオープンされているデマンドを棒グラフで表示します。SLAはリクエストタイプルールで設定されます。このポートレットは、デマンドに関連するアクティブなSLAを表示し、違反は赤色で強調表示します。

違反するリクエストのリストを表示するには、[これらの例外の表示] をクリックしてください。このポートレットに表示されるSLA情報は、[部署]、[アプリケーション]、[デマンドタイプ] などに基づいてデマンドをフィルタすることでカスタマイズできます。

図 6-5. [部署別SLA例外] ポートレット



[部署別SLA例外] ポートレットを構成できるすべてのフィルタフィールドの説明を表示するには、ポートレットの右上隅にある[ヘルプ]アイコンをクリックします。

[イニシアチブの承認待ち] ポートレット

[イニシアチブの承認待ち] ポートレット (図 6-6) は、PPM Center リクエストに関する一般的な情報を表示します。これには、説明およびステータスが含まれます。このポートレットは、[リクエストリスト] ポートレットと同じリクエスト基準でフィルタできますが、より詳細なリクエスト情報を表示します。

このポートレットをカスタマイズして、[リクエストリスト] ポートレットに表示される情報と同じ情報を表示し、さらにより詳細な情報も表示できます。

図 6-6. [イニシアチブの承認待ち] ポートレット



リクエスト番号	リクエスト タイプ	説明	ステータス
30245	PFM - 提案		新規
30243	PFM - 提案		新規
30169	PFM - 提案		新規
30172	PFM - 提案	Web site rollout to Facilities	新規
30173	PFM - 提案	CIO's pet project	新規

[イニシアチブの承認待ち] ポートレットを構成できるすべてのフィルタフィールドの説明を表示するには、ポートレットの右上隅にある [ヘルプ] アイコン  をクリックします。

ポートレットプリファレンスの設定

ポートレットが表示するデータ、およびある程度のデータの表示方法を設定できます。

ポートレットのプリファレンスを設定するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. 編集するポートレットが表示されている PPM Dashboard ページを開きます。
3. ポートレットの右上隅にある **[編集]** アイコンをクリックします。
[プリファレンスの編集:<ポートレット名>] ページが開きます。
4. ページに表示されるポートレットのタイトルを変更するには、次の手順を実行します。
 - a. ページの上部にある **[タイトルを変更]** をクリックします。
[ポートレットタイトルの編集] ウィンドウが開きます。
 - b. **[タイトル]** フィールドで、現在のタイトルを選択し、新しいタイトルを入力します。
 - c. タイトルを保存するには、**[変更]** をクリックします。
5. **[プリファレンス]** セクションと **[表示列の選択]** セクションで、必要な変更を行います。



[プリファレンス] セクションでコントロールの説明を表示するには、ポートレットに戻り、右上隅にある **[ヘルプ]** アイコンをクリックします。

6. **[完了]** をクリックします。

ポートレットに変更が反映されます。

ポートレットの使用については、次のドキュメントを参照してください。

- 『ポートレットとモジュールの作成』
- 『標準インタフェースのカスタマイズ』
- 『スタートアップガイド』

索引

D

Demand Management

はじめに, [9](#)

リクエストの概要, [47](#)

レポート, [98](#)

H

HP Demand Management

複数言語の使用, [14](#)

P

PPM ダッシュボード

ポートレットプリファレンスの設定, [114](#)

S

[SLA 違反履歴] ポートレット, [96](#)

[SLA 例外のロールアップ] ポートレット,
[102](#)

U

UI ルール

一括更新中の UI ルール, [88](#)

URL

リクエストへ追加, [42](#)

あ

アサイン

リソースのリクエストへのアサイン, [27](#)

[アサインキュー] ポートレット, [99](#)

い

一括更新

一括更新中の UI ルール, [88](#)

エラー処理, [89](#)

使用する際の考慮事項, [88](#)

リクエストに一括更新を実行, [90](#)

リクエストの一括更新, [88](#)

[イニシアチブの承認待ち] ポートレット,
[113](#)

印刷

リクエスト, [51, 95](#)

え

エラー処理

一括更新, [89](#)

クイック編集時のエラー処理, [85](#)

お

[オープン済みリクエスト(優先度別)] ポー
トレット, [100](#)

か

関連ドキュメント, [15](#)

き

キャンセル
リクエスト, **94**

く

クイック編集
クイック編集集中のエラー処理, **85**
実行方法, **86**
説明, **84**

クエリビルダ
クエリビルダの使用, **73**
使用されている比較演算子, **73**
使用されている論理演算子, **75**

グラフィックビュー, **58**

け

検索

クエリビルダを使用したリクエスト, **73**
リクエスト, **70**
リクエストクエリ内で使用されている比較演算子, **73**
リクエストクエリ内で使用されている論理演算子, **75**
リクエスト(詳細), **72**
リクエストの検索, **69**
リクエストの詳細検索, **72**
リクエストブラウザを使用したリクエスト, **75**

検索用語

クエリ内のグループ化, **75**

こ

更新

複数のリクエストの同時更新, **88**
リクエスト, **76**

コピー

リクエスト, **25, 51**

さ

サービス
サービスフィールドの有効化, **43**
リクエストのサービスの指定, **43**

削除

リクエスト, **95**

作成

リクエスト, **17, 20, 23**

参照

後続タスクリレーションシップ, **67**
終了 - 終了先行タスクリレーションシップ, **67**
先行タスクリレーションシップ, **67**
リクエストへの追加, **31**
リクエストリレーションシップ, **63**

し

[事前設定されたダッシュボード] ページ
[デマンドマネージャ] ページ, **109**

実行ログ, **62**

詳細リクエスト検索, **72**

承認の詳細, **60**

[処理されたデマンドの履歴] ポートレット, **96**

[新規リクエストの作成] ページ, **21**

す

ステータス
リクエスト, **12**

た

タスク
リクエストからの参照, **104**
リクエストへ追加, **41**

つ

追加

- URL を参照としてリクエストへ追加, **42**
- 既存パッケージを参照としてリクエストへ追加, **33**
- 既存リクエストを参照としてリクエストへ追加, **39**
- 新規パッケージを参照としてリクエストへ追加, **34**
- 新規リクエストを参照としてリクエストへ追加, **40**
- タスクを参照としてリクエストへ追加, **41**
- プログラムを参照としてリクエストへ追加, **36**
- プロジェクトを参照としてリクエストへ追加, **37**
- リクエストの参照, **31**
- リリースを参照としてリクエストへ追加, **38**

て

- [デマンド (カテゴリ別)] ポートレット, **99**
- [デマンド作成履歴] ポートレット, **96**
- [デマンド集計] ポートレット, **99, 109**
- [デマンドマネージャ] ページ
概要, **107**
[デマンドマネージャ] ページ上のポートレット, **109**
- [デマンドリスト] ポートレット, **97, 99**
- 電子メール通知
リクエストを開く, **77**
- 添付ファイル
リクエストへ参照を追加, **32**

と

- トランザクション履歴, **61**

は

パッケージ

- リクエストへ参照として追加, **33, 34**
- リクエストへ追加, **33, 34**

ひ

比較演算子

- リクエストクエリ内で使用されている比較演算子, **73**

- [ビジネスイニシアチブ別デマンド] ポートレット, **111**

開く

- 電子メールからリクエストを開く, **77**
- ポートレットを使用してリクエストを開く, **77**
- メニューバーを使用してリクエストを開く, **77**
- リクエスト, **76**

ふ

- [部署別 SLA 例外] ポートレット, **112**
- [部署別デマンド] ポートレット, **110**
- プリファレンス
PPM ダッシュボードページ上のポートレット, **114**
- プログラム
参照としてリクエストを追加, **36**
リクエストへ追加, **36**
- [プログラムのスコープ変更リスト] ポートレット, **100**
- [プログラムリスクリスト] ポートレット, **100**
- プロジェクト
参照としてリクエストへ追加, **37**
リクエストの統合, **103**
リクエストへ追加, **37**

へ

編集

- 単純リクエスト編集, **78**
- 複数のリクエストのクイック編集, **86**

ほ

ポートレット

- SLA 違反履歴, **96**
- SLA 例外のロールアップ, **102**
- アサインキュー, **99**
- [イニシアチブの承認待ち] ポートレット, **113**
- オープン済みリクエスト (優先度別), **100**
- 処理されたデマンドの履歴, **96**
- タイトルの変更, **114**
- デマンド (カテゴリ別), **99**
- デマンド関連, **99**
- デマンド作成履歴, **96**
- デマンド集計, **99, 109**
- [デマンドマネージャ] ページ上のポートレット, **109**
- デマンドリスト, **97, 99**
- ビジネスイニシアチブ別デマンド, **111**
- 部署別 SLA 例外, **112**
- 部署別デマンド, **110**
- プリファレンスの設定, **114**
- プログラムのスコープ変更リスト, **100**
- プログラムリスクリスト, **100**
- 問題リスト, **99**
- リクエストアクティビティ, **100**
- リクエストサマリ, **97, 101**
- リクエストサマリの円グラフ, **102**
- リクエストサマリの棒グラフ, **101**
- リクエスト参照, **101**
- リクエスト詳細, **96**
- リクエストのインポート, **96**
- リクエストの管理, **99**
- リクエストのクイックビュー, **97**
- リクエストヘッダタイプ詳細, **96**

- リクエストリスト, **101**
- リクエスト履歴, **97**
- リクエストを開く, **77**
- 連絡先の詳細, **96**

本章の概要, **9**

ま

[マイリクエスト] ポートレット, **100**

め

- メニューバー
- リクエストを開く, **77**

も

[問題リスト] ポートレット, **99**

り

- リクエスト, **39**
- URL を追加, **42**
- 一括更新, **88**
- 一括更新の実行, **90**
- 印刷, **95**
- 管理, **92**
- 管理の概要, **69**
- 既存パッケージの追加, **33**
- 基本検索, **70**
- キャンセル, **94**
- クエリビルダ検索, **73**
- グラフィックビュー, **58**
- クローズしたリクエストの再オープン, **92**
- 検索, **69, 70**
- 検索ブラウザを使用した検索, **75**
- 更新, **76**
- 後続タスクリレーションシップ, **67**
- コピー, **25, 51**
- 削除, **51, 93, 95**
- 作成, **17, 20, 23**

- 参照の追加, **31**
- 参照リレーションシップ, **63**
- 実行ログ, **62**
- 終了 - 終了先行タスクリレーションシップ, **67**
- 詳細検索, **72**
- 承認の詳細, **60**
- 処理とデータの整合性, **13**
- 新規パッケージの追加, **34**
- [新規リクエストの作成] ページ, **21**
- ステータスの定義, **12**
- 先行タスクリレーションシップ, **67**
- タイプ, **12**
- タスクからの参照, **104**
- タスクの追加, **41**
- 単純編集, **78**
- 通知からリクエストを開く, **77**
- 定義, **12**
- トランザクション履歴, **61**
- 開く, **76**
- 複数のリクエストの同時編集, **82**
- プログラムの追加, **36**
- プロジェクトの追加, **37**
- プロジェクトの統合, **103**
- ポートレットを使用した管理, **99**
- ポートレットを使用してリクエストを開く, **77**
- メニューバーを使用してリクエストを開く, **77**
- リクエストタイプの定義, **12**
- リクエストの一括更新, **88**
- リクエストの詳細ページの印刷, **51**
- リクエストの詳細ページの概要, **48**
- リクエストへ追加, **39, 40**
- リソースのアサイン, **27**
- リリースの追加, **38**
- レポートを使用した監視, **96**
- [リクエストアクティビティ] ポートレット, **100**
- [リクエストサマリの円グラフ] ポートレット, **102**
- [リクエストサマリの棒グラフ] ポートレット, **101**
- [リクエストサマリ] ポートレット, **97, 101**
- [リクエスト参照] ポートレット, **101**
- [リクエスト詳細] ポートレット, **96**
- リクエストタイプ, **12**
- 選択, **20**
- [リクエストタイプ詳細レポート] ポートレット, **97**
- リクエストに対するデータの整合性, **13**
- [リクエストのインポート] ポートレット, **96**
- リクエストの監視
- Demand Management レポート, **96**
- リクエストの管理, **92**
- 概要, **69**
- ポートレットの使用, **99**
- [リクエストのクイックビュー] ポートレット, **97**
- リクエストの再オープン, **92**
- リクエストの削除, **51, 93**
- リクエストの参照, **75**
- リクエストの詳細ページ
- グラフィックビュー, **58**
- [参照] セクション, **62**
- 実行ログ, **62**
- [詳細] セクション, **54**
- 承認の詳細, **60**
- [ステータス] セクション, **57**
- タイトルセクション, **51**
- トランザクション履歴, **61**
- [ヘッダー] セクション, **53**
- [メモ] セクション, **55**
- [リソース] セクション, **55**

リクエストブラウザ

リクエストを検索するための使用, **75**

[リクエストヘッダータイプ詳細] ポートレット, **96**

[リクエストリスト] ポートレット, **101**

[リクエスト履歴] ポートレット, **97**

リソース

リクエストへのリソースのアサイン, **27**

[リソース] セクション

リクエストの詳細ページ, **55**

リリース

リクエストへ追加, **38**

れ

レポート

Demand Management, **98**

リクエストの監視用, **96**

[連絡先の詳細] ポートレット, **96**

ろ

論理演算子

リクエストクエリ内で使用されている論理演算子, **75**

わ

ワークフロー

定義, **12**

ワークフローステップの定義, **12**